

おちんぽ係 生徒会 台本

会長 大山チロル様

副会長 柚木つばめ様

書紀 陽向葵ゆか様

● 1 生徒会にスカウトされたと思ったら、役職はおチンポ係！？

会「うむ、よく来てくれた。

突然の呼び出し、すまなかったね。

我が生徒会へようこそ。

まあ、そこにかけてくれたまえ。」

副「……あの、生徒会長？

そろそろ、私たちにも説明してくれませんか？

彼は、一体……。」

書「うん。誰なんです、この人。

私と同じ、新入生みたいけど……。

会長ってば、書記の私にはまだともかく、
副会長にまで話してないなんて……。」

会「まあ待て。そう急くな。

今から彼に説明するから、

お前たちもそれを聞いていれば、

自ずと理解はできるだろうからな。

……さて、そういうわけで、

まずは初めましてだな。

ここにいるゝ人は、この学校に通う生徒たちの代表、

生徒会の面々だ。

以後お見知りおきを。」

副「初めまして。

副会長をやっています。

よくわかりませんが……よろしくお願いしますね。」

書「私は書記。

キミと同じ新入生だけど、

この二人とはこの学校入る前からの知り合いで、

その縁で、生徒会に入ってるの。」

会「挨拶も済んだところで、早速、

説明に移ろうか。

キミをここに呼んだのは他でもない。

キミを我ら生徒会の、新たなメンバーに

加えようという話だ。

無論、キミさえよければ、だがね。」

副「えっ!？」

か、彼を生徒会に？

で、でも……この生徒会は伝統的に、

会長・副会長・書記の3人で回しているはずなのに……。

どうということなんです?。」

書「ええ。

彼を加えることの是非以前に、

そもそも役職がありませんよ？

彼に何をやらせるつもりなんです、会長。」

会「落ち着きたまえ。順に説明する。

すまないね。

いちいち話の腰を折ってしまつて。

だが、おかげで説明が少々省けたな。

聞いての通り、我ら生徒会はこの3人のみ。

昔から、最低限の人員で生徒会を運営するというのが、

この学校の決まりでね。

だが、おかげで生徒会の仕事は激務。

疲労は元より、ストレスだって溜まる。

なので私は、生徒会長権限を用い、

新たなメンバーを一人、追加することにした。

生徒会運営を潤滑に行うためにな。

そのために私は、密かにこの学校の生徒……。

それも、男子生徒のみに対象を絞り、

とある調査をした。

その結果、選ばれたのが他でもない、キミだ。

この私の眼鏡にかなったということだな。

光栄に思うといい。」

副「彼が……一体、何に選ばれたというんですか？

まあ、確かに個人的には……ふふ、かわいらしくて、

好みではありますけど……。」

書「私は別に……。」

好きもキライもない感じ……。

で、彼がなんなんですか？」

会「とても大事な仕事さ。

私たちの疲労、そしてストレスを大きく軽減してくれる……。

名付けて、おチンポ係だ。」

副「お、おちん……っ！？」

そ、それって……っ。まさか……っ」

書「おチンポ係って……！？」

な、何言ってるんですか……っ？」

会「私は考えたのだ。

ストレス解消には一体何がいいのか……。

結果、こういう結論に至った。

思春期まった中の我々学生が、一番楽しめるもの……。

それはセックスだっ。

ずっと前から思っていた……。

ストレスと共に溜まり続けるこの性欲を解消せねば、

生徒会は成り立たない、とな。

心当たりはあるだろう？ 副会長。」

副「えー？ そ、それは、その……。

ええっと……。

ない……とは、言い切れませんが……。」

書「いや、そこは言い切ってくださいよ……っ。

何を意味不明なことを……。」

会「新入生のキミたちが知らぬというのも無理はない。

だが、この生徒会には以前にも、

おチンポ係と呼べるものが存在したのだ。

去年度の夏休み明けに、その生徒が

転校してしまっただけ以来、空白となっていたがな……。

名前も、その時は性欲処理係と言っていたな。

堅苦しい名前ですまんから、これを機に改名した。」

副「確かに、以前、そのおちん……っ、

せ、性欲処理係さんがいた時の方が、

お仕事は楽でしたが……。

でも、あれは……正式な役職ではなかったはずだ。

だから、表立っての募集もできず、空白のままで……。」

書「そりゃあそうでしょうよ……。

てか、二人とも、そんな経験があったなんて……。」

会「それを復活させようと言うのだ。

そのためにキミを見つけ出した。

私たちのストレス、いや、性欲を受け止められる、

強いおチンポを持つ男子をな……っ。

どうだ、新入生くん。

引き受けてくれるかな？」

副「ま、待ってください、会長……っ。

こういう大事なことを、

面接もなしに決めてしまうというのは……っ。

こういったことは、その……相性とか、

いろいろありますから……。」

書「私はそもそも係自体の必要性を疑ってますが……。

まあ、彼の意志だけで決まるというのは、

私もどうかと思いますよ。

副会長の言うとおり、面接とか、試験とか、
しておいた方がいいんじゃないですか。」

会「ふむ……。

まあ、一理はあるな。

私も実際、データは閲覧したが、
それそのものは体験していないからな。

データが間違っているという可能性もある……。

よし、いいだろう。

では、今よりおチンポ面接を始めることとする。

キミの資質をこの目で、いや、この身体で確かめさせてもらおう。
構わないね？

……うむ、いい返事だ。

評点をプラスしておこう。」

副「あの……いろいろといきなりで、
びっくりしたかと思いますが……。

悪いようにはしませんから。

どうかリラックスして、おチンポ面接に臨んでくださいね。」

書「副会長、いつの間にか乗り気ですね……。」

まあ、私もその……。

そういったことに興味がないわけではないけど……。」

会「では、よろしく頼むぞ、新入生くん。

私の期待通りの実力を、見せてくれたまえ。

ふふふふふ……っ。」

● 2 生徒会に入るためのおチンポ面接！？ 三人がかりで静止濃度チェック♡

会「そら、顔をこちらへ向ける。

まずはきちんとおチンポ係の役目が果たせるかどうか、
確かめさせてもらっぞ？

たっぷり気持ちよくしてやるから……♡

おチンポ、勃起させろ……っ♡

っはぁ……♡

どうだ♡ 甘あいディープキスだ……♡」

副「いきなりやりますね、会長……。」

会「手を抜いても意味がないからな。

どうせやるなら全力だ……♡

さあ、副会長も頼むぞ。

キミにはおチンポそのものを任せよう。

頼んだぞ。」

副「は、はい……っ。

がんばります……っ。

ええと、それでは……♡

おチンポ、失礼しますね……♡

あなたのおチンポ、優しく握って……はあい……♡

おチンポ、しこしこ……♡

手コキしてさしあげますね……♡」

書「うわぁ……。

マジで始めちゃってるし……。

私も何かした方がいいのかな……。」

会「うむ。

ではキミには耳舐めを頼もうか。

生徒会ω人で力を合わせ、

このおチンポの感度を確かめていこうじゃないか。」

書「よくわかりませんけど……。

わかりました。

じゃ、行くよ？

耳舐めだっけ？

こんな感じかな……。

はぁ……♡

ん、意外と面白いかも……♡

これ、続けられいいんだよね……♡」

会「その調子だ。

副会長が手コキでイカせるまで、

このままキスと耳舐めで、

たくさん感じさせてやろうじゃないか♡」

書「はあい……♡

ふふふ……♡」

副「おチンポ、どんどん大きく、

硬くなってきてますね……♡

会長のキス、書記ちゃんの耳舐め……♡

どっちも気持ちいいんですね……♡

いいんですよ、たっぷり感じていただいて……♡

確かにこれは、あなたへの……あなたのおチンポへの、

面接試験ということにはなってますが……♡

無理矢理犯して、強制的におチンポ勃起させて、

出ない精液を搾り取る、というようなことは、

いたしませんから……♡

ストレス解消のためのおチンポ係ですから、
その人がストレスを感じるようでは、
まったく意味がありませんからね……♡
明るく、楽しく、気持ちよく……♡
私たち生徒会メンバーも、おチンポ係であるあなたも、
どっちも楽しめるのが一番ですからね……♡
ほら、だからもっと、おチンポ気持ちよく……♡
おチンポいいこ、おチンポいいこ……♡
よしよし、よしよし……♡
」

会「ふふふ……♡

とはいえ、場合によっては多少、
強制的におチンポを使わせてもらっことも、
ないではないだろうな……♡
どうしても性欲が溜まってしまって、
ムラムラ、イライラ……♡
おチンポぐっぽりハメてもらって解消しないと、
何もかもが手に付かないという事態も、

もちろん起こりうるだろうからな……♡

覚悟はしておいてくれたまえ……♡」

書「ん……♡

おチンポ、副会長の手の中で、かなり大きくなってるね……♡

私たちにいっぱいしてもらうの、そんなにいいの？

ま、そりゃそうだよな……♡

この状況……♡ 女子ω人に囲まれて、

キスやらおチンポいじりやら、してもらってさ……♡

ハーレムえっち、味わってんだもんね……♡

お口の中、会長のペロでにゆるんにゆるんって、

いっぱい掻き回してもらって……♡

唾液じゅるじゅる啜ってもらって、

お口の中の味、二人いっしょにってもらってる……♡

柔らかい唇存分に味わって、甘々べろちゅー……♡

気持ちいいよねえ……♡」

副「ふふ……♡

おチンポ、どんどん膨らんで……♡

すばらしい感度です……♡

もう我慢汁がとぷとぷいっぱい……♡

あるいは少々、早漏気味かもしれませんが……♡

でも、それはそれで構いませんよ♡

なにせ♡人を相手してもらうことになるんですから、

遅いよりは早い方がいいですし……♡

もっと重要なのは、おチンポの耐久力ですからね♡

何回おチンポ射精できるのか……♡

どれだけザーメンどっぴゅんでできるのか……♡

タマタマがどれぐらいがんばってくれるのか……♡

そちらのテストもいたしますから……♡

どうか、おチンポたくさん、感じてください……♡

イキそうになったら我慢せず、お漏らしぴゅっぴゅ♡

してもいいですからね……♡」

会「んう？ ふふ……♡ キスの最中に、

何を口をもごもごさせているのかと思ったら……♡

そうか♡ もう出てしまいそうなのか♡

副会長にイッていいと言われて、

我慢の糸が切れてしまったようだな♡

うむ、いいぞ♡ このまま出せ……♡

どこに出しても構わんぞ♡

このまま出すのであれば、私の制服にぶっかけか……♡

いいぞ♡ たっぷり汚せ……♡

生徒みんなが知っている生徒会長……♡

男子みんながオナネタにしている、爆乳生徒会長の制服を、

汚してしまえ……♡」

書「っはあ……♡

出ちゃうんだ……♡

女子♡人に、身体中、おチンポまで揉みくちやにされて、

おチンポどつく♡ しちゃうんだ♡

ああ、ちょうどおチンポの先っぽ、

会長のお腹の部分にあるね♡

あそこにぶっかけちゃうんだ♡

精液染み、作っちゃうんだ……♡

キミのくっさいザーメンぶちまけて、

真っ白ドロドロ、匂いもとれなくなっちゃうぐらい、

たっぷり……♡ びゅーびゅーしちゃうんだ♡

いいよ……♡ 出せ出せ……♡

出しちゃえよ……♡

おチンポ係として、どれだけ精液出せるのか……♡

私も興味出てきちゃったからさ……♡

いっぱい、出せ……♡」

副「ふふふ……♡

いいですよ、はあい……♡

おチンポどうぞ……♡

おチンポしこしこ、いっぱい優しくしてあげますからね……♡

ほら、お顔、ぎゅーって……♡

おっぱい押し付けてあげますから……♡

かわいいお顔、私のおっぱいに包まれて……♡

女子の甘い香り、たっぷりくんくんしながら、どっくん……♡

お漏らしぴゅっぴゅ、いっぱいしましょね……♡

はあい、はあい……♡

どうぞ、どうぞ、おチンポどうぞお……♡

イッてください♡

びゅーびゅーびゅー……♡

おチンポお射精、いいですよお……♡

はぁーい……♡

びゅー……う……♡

びゅる、びゅる、びゅるるう……♡

あは……♡ いっぱい出てる……♡

たっくさん精液、どっぴゅう、どっぴゅう……♡「♡」

書「うっわ……♡

すご……♡ 会長のお腹に、どくどくどくどく……♡

てか、会長も、すご……♡

お腹にザーメンぶちまけられてるのに、

ずっと甘々ディープキス……♡

キミが最後まで気持ちよく、

いっぱいどっくんできるように、

べろちゅー続けてる……♡

いきなりおチンポ係とか言い出して、

どうかと思ったけど……♡

こういうところはやっぱり、会長のこと、尊敬しちゃうな……♡「

会「っはぁ……♡ ふふふ……♡

全部出せたか？ おチンポ射精、終わったか？

うむ♡ では副会長、手コキも止めていいぞ♡「

副「はぁい……♡

お疲れさまでした♡

いっぱい出せましたね♡

ふふふ……♡「

会「うむ……♡

やはり、私の集めたデータは間違いではないようだな……♡

事前の調査通り、濃厚な精液を出せる、

優秀おチンポだ……♡

見ろ……♡

精液が濃すぎて、ほとんど垂れていかないぞ♡

ゼリーのように固まっている……♡

すばらしい……♡

だが……♡ テストはまだ、続けさせてもらうぞ♡

さっき副会長も言っただろう？

重要なのは回数だな♡

せめてもう一回ほどは、不自由なく射精できるようではないと……♡

おチンポ係とは認められん♡

というわけで、だ……♡

ちょうど制服も、汚されてしまったことだし……♡

っふう……♡

次はこの、自慢のおっぱいで……♡

おチンポの相手をしてやろう♡

私のこの……エカップ、爆乳おっぱいで、パイズリだ……♡」

副「ふふふ……♡

ええ、そうですよ♡

会長はエカップ♡ 大きなおチンポだって、

すっぽり包み込めちゃうドスケベデカ乳……♡

その重たい乳圧を使ったパイズリで……♡

おチンポ搾り、されちゃうんです♡

大丈夫ですか？」

書「ま、これはテストなんだから、

無理とは言えないだろうけど……♡

おチンポ、おっぱいでばっふんってされた瞬間に、

敗北お漏らし、しちゃうかもね……♡」

会「なあに、そうはならないと信じているよ……♡

では、行くぞ……♡

ふふ、射精したてなのにまだこんなに大きく……♡

これ自体も加点はしておくが、乳圧に耐えられるかどうか……♡

見せてもらうぞ……♡

そうら……♡ おチンポ、おっぱいで……♡
むにゅうううう……♡」

書「うっわ……♡

おチンポ全部、おっぱいに飲み込まれちゃった……♡

あはっ♡ 身体跳ねてる……♡

腰浮いて、おチンポへこへこ……♡

おっぱい気持ちいい？ 会長のエカップ乳圧、

そんなにすごいの？

お漏らしどっくん、しちゃってる？」

副「いえ……♡

我慢汁はたっぷりお漏らししていそうですが、

お射精とまでは行っていないようです……♡

がんばりましたね……♡

ご褒美、あげましょうか……♡

っはぁ……♡

ふふふ……♡」

会「いいぞ、副会長♡

おチンポが私のおっぱいの中で、またびくと跳ねた♡

そのままさっきの私のように、

たっぷりキスを続けろ♡

二人でいっしょに、彼のおチンポ、

気持ちよくとろかせてやろうじゃないか……♡

副「はあい……♡

では、失礼しますね……♡

あなたの方も、いっぱい舌、

伸ばして、絡めてくれて、

いいですからね……♡

んうぁ……♡」

会「こちらも、行くぞ……♡

パイズリ開始だ……♡

おチンポぎゅうぎゅう♡ 乳圧かけて、

ぐりぐりぐりぐり♡ ずりずりずりずり……♡

おお♡ またおチンポ、暴れたぞ♡

くくく……♡」

書「腰へこ、全然止まらない……♡

会長のエカップパイズリ、気持ちよすぎるね……♡

おチンポの根元から先っぱまで、みっちり乳肉、

包まれて……♡

おチンポ揉みくちや、ぐにぐに搾られちゃってるもんね……♡

副会長の甘々デープキスも、なんかすごそう……♡

頭優しく抱えてもらって、ちゅっちゅ、ちゅっちゅ……♡

恋人同士よりも激しくべろちゅーしちゃってる……♡」

会「ふふ……♡

あつという間に私のおっぱいがどろどろだ♡

キミのおチンポ、どうやら私のこのおっぱいを、

おまんこ勘違いしてしまっているようだな♡

あったかぬるぬる、柔らかすぎて、

セックスの最中だと思い込んで、

おチンポどくどく、我慢汁お漏らし……♡

突き上げへこへこ止まらなくって、

気持ちよさそうに、びくびく震えて、

存在感強く、勃起もさらに進んで……♡

いいぞ、ほら……♡

パイズリセックス♡ もっと楽しませてやる……♡

エカップの乳肉まん♡ おチンポでいっぱい感じるんだ……♡」

副「ふふふ……♡

お目々がとろんって♡

心地よすぎて、訳がわからなくなっちゃってますね……♡

ほらほら、だめですよお……♡

ちやあんと意識、強く持って……♡

せっかくの、おチンポ甘やかしパイズリ……♡

しっかり味わわないと、もったいないですよ……♡」

書「そんなこと言われても、無理だよね……♡

甘々べろキスされながら、

おチンポ、にゆるふわデカ乳でむっちり挟まれちゃったら……♡

どんな男子も、勝てるわけない……♡

いくらキミが優秀チンポ持ってるからって、

おチンポどくどく先走り汁漏らしちゃって、

キンタマぐつぐつザーメン煮え滾らせて、

会長のエカップパイズリオナホに、

どっぷり射精することしか考えられない……♡

ねえ、そうでしょ？

もう出ちやいそう♡ もうイッちやいそう♡

おチンポイクイク♡

幸せべろちゅーパイズリで、ザーメンもれる……♡」

会「ふふ、いいぞ……♡

出してしまえ……♡

最後は私が、このチンポ……♡

口でたっぷり啜ってやる……♡

キミの精子の味……♡

精液の芳醇な香り……♡

確かめさせてもらっぞ……♡

ふふふ……♡

ほうら……♡

いただきまあす……♡

あゝ……♡

(啜えたまま話す) んふふふふ……♡「♡」

副「出ちゃうんですね♡

いいですよ♡ どうぞ、どうぞ♡

パイズリフェラでおチンポしぼられて、

いっぱいいっぱいお射精してください♡

私も最後まで、べろちゅーでおチンポ♡

気持ちよくしてあげますからねえ……♡

たくさん、たくさん、たくさん……♡

会長のお口の中に、お漏らししましょうね……♡「♡」

書「お口もおチンポもじゅるじゅる吸われて、

こんなの我慢できるわけないね……♡

いいよ、出せ、出せ……♡

またたくさん、ザーメンぴゅっぴゅ……♡

どれぐらい出る？

どんだけ出せる？

キミがおチンポ係になれるかどうか、

これで決まるからね……♡

いっぱい出しちゃえ……♡

もっと私たちと、えっちなこと、

いっぱいしたいなら……♡

どくどくお漏らし、おチンポびゅるるう……♡

濃いのを、たっぷり……♡

どびゅどびゅ出しちゃえ……♡

イケ、イケ、イケ、イケ……♡

出せ、出せ、出あせ、出あせ……♡

はあい……♡

びゅっびゅっびゅー……♡」

会「(口内射精)

んっううっ、ぐっうううっ……っ♡

んっ、んっおっ、んっうっ、んっふっ……♡

んっ、んっんっ、んっ、うっうっ……♡

くっうう……♡

(口離す) んっふっ……♡

ふっ、ふっ、ふううう……♡」

副「あ……会長……♡

お口いっぱい、膨らませて……♡」

書「うっわ……♡ ハムスターみたいになってる……♡」

会「(啜えたまま鼻呼吸) んっ……♡

んっ、ふっうう……♡

(飲む) んっぐ……♡ んっゅっ♡

んっぐ♡ んっぐん♡ んゅゅ、ゅゅっ♡

んゅゅっ♡ んゅゅゅゅ……♡

ぷっはぁ……♡

はっ、はっ、はっ、はーぁ……♡

ふふふふふ……♡

精液の味……っ♡ 量……♡

濃度まで、2発目とは思えない……♡

なんてすばらしいんだ、キミのおチンポは……♡」

副「ふふふ、よかったですね♡

会長にこんなに褒めてもらえるなんて♡

ではこれで、晴れて彼は生徒会に——」

会「いや、それはまだだ。

まだもう一つ、テストが残っている……♡

私との……♡ 本番セックステストだ……♡」

書「えっ!？」

本番って……まさか、ヤッちゃうってことですか……?」

会「ああ、そうだ♡

最後に私とのセックスの相性をテストさせてもらう♡

いくらおチンポが優秀だろうと、

相性が合わないとなれば、意味がないからな♡

確かめさせてもらうぞ……♡

キミのおチンポが、一体どれだけ……♡

私のおまんこにぴったりかをな……♡

ああ、楽しみだ……♡

ふふ、ふふふふふ……♡」

● 3 セックステスト開始！ おまんこイカせまくりで合格目指せ♡

会「どうした……？」

緊張しているのか？

なあに、心配はない……♡

私に任せておけば安心だ……♡

それに……自分自身のおチンポを見てみる♡

大きく勃起して、これから始まる極上の時間を、

楽しみにしているようだぞ……♡」

副「どうか、リラックスしてください……♡

大丈夫ですよ♡

あなたが思っている以上に、

本番おまんこセックスは気持ちよくって、
とっても楽しいことですから……♡

書「キミはただ、おチンポ気持ちよくなって、
出したい時に出したい分、
射精すればいいだけ……♡
なら、怖がることなんて何もないでしょ？
大人しくしてなさい♡
私も早く、キミと会長のセックス、見てみたいし……♡」

会「では……♡ キミのおチンポ、
味わわせてもらっぞ……♡
キミは椅子に座ったまま……♡
上に乗っかって、ほら……♡
対面座位だ……♡
このままおまんこ、おチンポに当てて……♡

んっぁ……♡ はぁ、ふう……♡

下着は履いたまま、ずらし挿入……♡

これがなかなか、地味ながら、

興奮を誘うんだ……♡

んっう、ふう……♡

おチンポ熱い……♡ それに、だいぶ大きい……♡

以前のおチンポ係より、よほど……♡

あぁ、だめだ、もう少し焦らしてやろうと思ったが、

我慢できない……♡

入れるぞ……♡ 入るぞ……♡

おチンポ飲み込まれていくところ……♡

じっくり、見てろ……っ♡

んっうん……♡

あっ、くっ、んうっあっ、あああ……♡

そら、入っていくぞ……♡

キミのが、私の中に……♡

んっうう……♡ うっ、あっ、

んっあん、はっあああ……♡

っあああ……っ♡

はぁ、はぁ、はぁ……♡

ふふふ……♡ どうだ……♡

全部入ったぞ……♡

しっかり奥まで、飲み込まれて……♡

んっうん……♡

ふう、ふう……♡」

副「初めてのおまんこ、いかがですか……♡

会長の中はあたたかくって、気持ちいいでしょう？

おチンポにゆっぷり、にゆるにゆるひだひだ、

絡みついて、抱き着いて……♡」

書「おチンポ、ホントに入ってる……♡

すご……♡ これがセックスなんだ……♡

生の、ホントの……♡ おまんこ交尾……♡」

会「お前たちも、見ていただけじゃあだめだぞ……？」

私が彼のおチンポをテストしている間、しっかりと……♡

彼のことを気持ちよくしてやってくれ……っ♡」

副「はい、会長♡

では、またお耳にしましょうか……♡

いっぱいお舐めしてあげますね……♡」

書「ホントはしっかり、セックス、見てたいけど……♡

まあ、これはこれで楽しいし、いっか♡

行くよ……♡」

会「私もしっかり、おまんこしてやるぞ……♡

テストとはいえ、気持ちのいいセックスだ……♡

めいっぱい、楽しもうじゃないか……

そうら……♡

んっ、あっ、はっああんっ、んっうん……♡

はっあああん……♡

ふふふ……♡」

副「はーあ……♡」

書「んうあ……♡」

会「どうだ……♡ んう、はあ……♡

おまんこで、おチンポ♡

にゆるにゆる、じゅぷじゅぷ……♡

これが、セックスだぞ……♡

おまんこぱん♡ おチンポ出し入れ……♡

くっう……♡

あっ、くっ、気持ちいい、だろう……？

んっうああ……♡

んんっ……んあ、あん、んっ、あ、ああ、ううっ♡

はっあああ……♡

手コキやパイズリ、フェラなどとは違う……っ♡

おまんこだけの感触……♡

この快感は、セックスだけでしか、

味わえない……♡ つくうん……♡」

副「会長が身体を上下に動かして、

おまんこずぶずぶ……♡

おチンポ何度も、出たり、入ったり……♡

いかがですか……？

あなたも男子ですから、きっと、

何度もセックス妄想しながらオナニー、

していましたよね……♡

本物を今味わえて、いかがですか？

妄想オナニーよりも、何倍も、

気持ちいいでしょう？ ふふふ……♡

ほら、おチンポに意識を集中してみてください♡

カチカチに勃起したおチンポで、会長のおまんこの中身……♡

穴の形、ひだひだの位置まで、しっかり感じて……♡

これが本物おまんこなんですよ……♡

本物おまんこかき分けて、本番セックス……♡

ぱんぱん、ばちゅばちゅ♡ たんたんたん♡

おチンポ、おまんこでよしよして♡

してもらってすんですよ……♡」

書「キミも会長も、すごい気持ちよさそう……♡

いっしょになって喘ぎ声出して、

あんあん、はあはあ、仲よさそうに……♡

初めてセックスしたとは思えないぐらい……♡

もしかしてこれが、相性いいってこと？

片方が気持ちよくなれるところが、もう片方も同じだから……♡

いっしょになって、おチンポおまんこぱんぱんって、

腰振りセックスしてるから、

同じように喘いで……♡ 同じように顔、とろかせて……♡

ほら……♡ 会長のおまんこ、愛液だらっただら……♡

キミのおチンポ、ねっとりしてる……♡

びちょびちょで、糸引いて……♡

おまんこのお汁べっちょりで……♡

すごいえっちなおチンポになってる……♡

やだ……♡

やっぱ、私も……欲しくなってきた……♡

どうしょ……♡
「♡

会」「んう、はぁぁぁ……♡

キミのおちんちん……♡ すばらしいぞ……♡

っぁぁ……っ♡

正直に、言ってしまうが……っ♡ んっ♡

さ、さっきから、知らないところ……♡

今まで味わったことのないところ♡

おチンポっ、何度も当たって……♡

うっくう……♡

こんなに気持ちよくなったことなんて、一度もないのに……♡

んっぁ、あっぁぁ……♡

うん、あん、あんっ、ぁ、あっ、うん、んっ、んっく、んっふ……♡

はっ、はぁ、んっはぁ、んっうう……♡

うっくう、ぁぁ……♡

もっと、強くおチンポされたら、どうなるんだろうな……♡

例えばキミが、強く……♡

私のお尻を掴んでだな……♡

私の身体をがっちり掴んで……♡

上から私の身体を叩き下ろし……♡

下からはキミのおチンポを突き上げて、なんて……♡

もっと強烈なセックスを味わわされたら、

私は……♡

どうにか、なってしまいそうだなぞ……♡

普段の全校集会で、いつも凜とした姿をしている、

爆乳エカップ生徒会長の……♡

乱れた姿……♡ 見てみたかないか……♡

もっと激しくおまんこすれば、

おっぱいだって……♡

もっとだぶだぶ、スケベに揺れて……♡

おチンポに効くようになるぞ……♡

ほら、どうだ……♡

やってみるか……？

それともこのまま、おまんこで優しく、

おチンポよしよししていてほしいか……？

それでもいいぞ……♡

どちらでも、私の好物——んっあっ♡

お尻、掴まれて……っ♡

うっあっあああ……♡

んっああっ、くうっっ、はっああああ……♡

あはあっ……ああんっ、あんっ、いや、やん♡

んあう、あう、あん、あんっ、んあっ、んあうっ……♡

おチンポ、激し……っ♡

突き上げピストン……っ♡

こ、こんな……っ♡　こんなにや……っ♡

こんなにやのっ、知らにやいい……♡

っああああ……♡「

副「あは……♡

すずいすず……♡　どちゅどちゅどちゅうっ……♡

おチンポ突き上げ……♡

必死になって、いっぱいおチンポ連続出し入れ……♡

ふふふ……♡

かっこいいおチンポピストンというわけではないですが……♡

そういう必死なお姿、とってもかわいらしくて、素敵です……♡

会長も、会長のおまんこも、大喜びですよ……♡

気持ちよすぎで呂律の回らなくなる会長も、

久しぶりに見ました……♡

ふふふ……♡」

書「ぱんぱんぱんぱん……♡

音、すっご……♡

会長のおまんこ汁も、さっきよりもっと増えて……♡

おチンポどろどろに絡みつく、ねばついたメス汁……♡

たくさん溢れてくる……♡

これがキミの本気おチンポ？

まだまだ下手くそそうだけど……♡

これだけ必死にずばずばされたら、

上手い下手とかそれ以前に、もう……♡

おまんこ幸せになりすぎて、好きになっちゃいそう……♡」

会「んあっ、あん、んくっ、んうっ……♡

んあ、ああん、あっ、あんっ、んう、んあ、んあっ♡

んつくうあっあああ……♡

だめっ♡ だめっ♡ これっ、予想以上につ♡

んうああああ……♡

キミのおチンポっ、優秀しゅぎい……♡

んううあああ……♡

あっ、あっ、あっ、あっ……♡

んっ、あん、んあ、あっく、んつく、いや♡

んっ、ううんっ♡ んうああっあっあああ……♡

知らにやいっ♡ こんなおチンポっ♡

ぶっといおチンポっ♡ じゅぼじゅぼっ♡

こんないいなんてっ♡ 知らにやいい……♡

いあ、ん、んうっ、んあ、んあう……♡

イクっ♡ イクっ♡ これ来るっ♡

イツちゃう……っ♡

おまんこイクからっ♡

おまんこイクからっ♡

出してっ♡ 射精っ♡ どぐどぐっ♡ びゅるるっ……♡

キミの全力ピストンでイクっ♡

下品にデカ乳揺らしながらいぎゅう……♡

んっううっ、あああっ♡

いっぎゅ♡ いっぎゅ♡ いっぎゅう……♡「♡

副「出してください……♡

さあ、さあ……♡

いいですよ……♡

このまま会長の中に、どぐどぐっ……♡

おまんこお射精……♡「♡

書「中出するの……っ？

中に出しちゃうの？

おちんちん、おまんこぴゅっぴゅ……♡

しちゃうんだ……♡ 出ちゃうんだ……♡

いいよ、イッちゃえ……♡

出しちゃえ、出しちゃえ♡

おチンポびゅーびゅー……♡」

会「んっ、ああ、ああんっ、あんっ、いや、やん♡

んあう、あう、あん、あんっ、んあっ、んあうっ……♡

んっいいいい……♡

いっきゅ♡ いっきゅ♡ んっうっうっ、ひっきゅうううっ……♡

っんおおっ、くうううっうう……う。

出してっ♡ 出してっ♡ 出してええ……♡

おチンポ射精っ♡ 中出しっ♡

どっくん……♡ ううっ、あああっ♡

んうあああっ、んっひっいいい……♡

（絶頂） んううあっああああ……♡

っあああっ、うっくううっ♡

ふっ、あっ、んうっああっ、ううっひっいいい……♡

ふっ、ふっ、ふっふうふううっ……♡

どくどく、出てりゅう……♡

中出し、びゅーびゅー……♡

濃い、いっぱい……♡

はっ、はっ、はぁぁ……♡

副「おチンポ、どくどくって……♡

会長の中に精液注いでるの、わかっちゃいます……♡

タマタマの中身、とっくん、とっくん……♡

いっぱい注いで……♡

書「マジで中出ししちゃってるし……♡

いくらおチンポ係だからって、こんな……♡

でも……やっぱ、気持ちよさそう……♡

会「ふっ、ふっ、ふうう……♡

んっぁぁ……♡

はぁ、はぁ、ふう、はぁ……♡

ふふふふふ……♡

とってもいいチンポだった……♡

優秀おチンポながら、少々頼りなさげだったキミだが……♡

これだけのピストンができるなら、安心だな……♡」

副「では会長♡ 彼は、これで……」

会「いや……♡

合格にはまだ早いぞ？

ふふ……♡

私としてはもう答えは決まっているが……お前たちはどうだ？」

書「え？ いや、それは、その……♡」

副「実際に体験してみないことには、私たちも……♡」

会「ふふふ……♡

そういうことだ♡

新入生くん♡ キミへの最後のテストだ……♡

残り二人も、キミの手で、イカせてみせろ……♡

それが出来たら、今度こそ本当に合格だ……♡

おチンポ係として正式に迎え入れよう……♡

それでいいな、二人とも?」

副「は、はい……♡ 大丈夫です♡

私も、早く彼のおチンポ、味わいたくって……♡

会長のセックス見てたら、もじもじしてしまっ……♡」

書「わ、私は……ど、どうしよっかな……。」

会「ん? 何? そんなに射精できないだど?

ふふ、バカなことを言うな♡

キミはそんなやわな男じゃないだろう♡

私に任せてみる……♡

キミはまだ、キミ自身の可能性に気付いていないだけだ……♡

さあ、立て……♡

もう椅子など不要だ♡

そして……♡

おチンポをまた、元気いっぱいにさせるには……♡

これだ……♡

キミのお尻の穴を……♡

んうあ……♡

っはあ……♡

にゆるにゆる舐め犯してやる……♡」

副「あは♡ さすが会長♡

いかがですか？ お尻の穴……♡

女の人にぺろぺろと舐められて、気持ちいいでしょう？

お尻の穴の中には、前立腺という、

おチンポが気持ちよくなる場所がありますから……♡

そこをにゆるにゆるぺろぺろと、ほじくられたら……♡

ほら……♡

おチンポあつという間に、元気いっぱい……♡」

書「すい……♡

会長、技術だけじゃなくって、知識まで……♡

私もっと、勉強しないとダメかな……♡」

副「さあ、それでは私とおまんこセックス、しましょうね♡

私……あなたの、もっと男らしいところが見てみたいです♡

ですから……♡ 駅弁交尾なんて、いかがですか？

私の身体を持ち上げて、下からどちゅどちゅって♡

かっこよく、私のおまんこ……♡

犯してみてください♡」

会「っはあ……♡

やってみろ、新入生くん……♡

なに、ものは試しだ♡

それに、ダメそうになったら……♡

こうしてケツを叩いて、気合いをいれてやる……♡」

副「それでは、お願いします……♡

んあっ♡

すごいです……♡ 流石男の子……♡

軽々持ち上げられて……♡

んう……♡ おまんこに、おチンポが……♡

ああ、入る……♡ 入っちゃいます……♡

おチンポ、ずっぷり……♡

おまんこに……♡

っああああ……♡

はっあ、くううつ、はっあん、はあ……♡

おチンポ、おつきくて……っ♡

硬い、です……♡ ああ……っ♡

私もこんなの……っ♡ は、初めてで……♡

うつく、うぐ、うあ、うあん、あん、はあつ、あはつ、あはあつ……♡
あつ、ああつ、あつ、はあつ、あんつ、あん、あんつ、やんつ、ふあつ
んつうん……♡

おチンポぱんぱん、すごく上手う……♡

うつく、うぐ、うあ、うあん、あん、はあつ、あはつ、あはあつ……♡
あつ、ああつ、あつ、はあつ、あんつ、あん、あんつ、やんつ、ふあつ
っあああ……♡」

書「ふうん……♡

知らない顔だったし……♡

あんまり男らしくないと思ってたけど……♡

やればできるんだね、キミ……♡

かっこいいじゃん……♡

はあ……♡

副会長の身体、上手に突き上げて……♡

駅弁セックス……♡

気持ちよさそうに喘がせてるよ……♡

会長と同じくらいドスケベな、

副会長の身体……♡

会長と同サイズのエカップおっぱい……♡

だぶたぶ揺れちゃってる……♡

ふふふ……♡」

会「もっとおチンポ、硬くしろ……♡

立派なオスとして、副会長を感じさせて……♡

私たちに、キミがおチンポ係としてふさわしいと、

認めさせてみる……♡

ほら、もっと気合い入れて、

ばこばこピストン……♡

いっぱいおまんこ、突き上げるんだ……♡」

副「あっ、あつい、んあ、ああん、あっ、あんっ♡

んう、んあ、んあっ、あっ、あっ、あっ……♡

んっうう……♡

あなたのおチンポっ♡

奥の方まで届いてっ♡ んっくう……♡

はっ、んっ、駅弁交尾っ♡

男性に持ち上げられてっ♡ ぱんぱんぱんって♡

ああ、気持ちいいですっ♡

はっ、んっ、あっ、はっあああ……♡

おまんこいっぱいっ、感じてしまっ……♡

んっうう……♡

久々の、セックスでえ……♡

私、もうイキそうに……っ♡

っああああ……♡

ん、っく、ん、んふう、んあ、あう……♡

ひあ、あ、んあっ、ああっ、ううあっ……♡「♡」

書「副会長、イッちやうってさ♡

キミは？ キミのおチンポはどう？

キミも出ちやいそう？ あは、マジで？

じゃあ、また中出した♡

さっき会長にびゅーびゅー出したのに、

今度は副会長に、どっぴゅんしちゃうんだ♡

さっすがおチンポ係……♡

おまんこ連続中出しなんて、そうそう出来ないよお……♡

いいよ♡ 出せ、出せ……♡

またあつついの、出してあげて♡

かわいい声で喘いでる副会長の、

おまんこの奥に……♡

どろどろ精液、注ぎ込んで……♡」

会「尻穴もきゅうって締まって……♡

イキそうなのが、こっちでもわかるぞ……♡

さあ、出せ、出すんだ……♡

副会長をイカせながら、どっぴゅん、中出し……♡

そら、出せ……♡

たっぷり出せ♡ ぶちまけろ……♡

優秀チンポの連続中出し……♡

見せてみる……♡」

副「んあ、んう、あん、うん、あん、あんっ♡

んっうんっ♡

イック♡ イック♡

イキますっ♡ はっあああ……♡

あっ、んんっ♡ 身体っ、持ち上げられてっ♡

身体もっ、頭もっ、おまんこもっ、ふわふわしてっ♡

っあああ……♡

イク♡ イク♡ イキますっ♡

やっあああ……♡

あっ♡ あっ♡ あっ♡ あっ♡

うんんあっ♡ やっあっあああ……♡

（絶頂）んっうっうん……♡

んっ、くっ、はっあんっ、うっあっあああ……♡

っああっ、熱い……♡

どくどく、びゆるびゆるう……♡

んっ、ふっ、うっくっ、はっあ……♡

精液いっぱい……♡ 中に……♡

ああ、気持ちいいです……♡

はあ、はあ、はあ……♡」

会「っふう……♡

お疲れ様だな、新入生くん♡

連続交尾もこなせたか♡

やはりキミは優秀だ……♡」

書「ええっと、会長？

もしかしてなんですけど、次は……。」

会「うむ♡ もちろんキミだ♡

書記としての務め、しっかり果たしてもらおうぞ♡」

書「い、いやいや……。」

セックスは別に、書記の務めじゃないですって……。」

副「えっちするの、いやなの？

こんなに気持ちいいのに……♡」

書「いやというか……まだ少し、

抵抗が……。」

会「ふむ、そうか……。」

まあ、こちらとしても無理強いはいしないよ。

あくまでも、ストレス解消のためのセックスなのだからな。

とはいえ、だ……。

テストは最後までやりとげなければならない。

それはわかるな？

だから、手マンしてもらおうというのはどうだ。

それならキミも納得してくれよう?」

書「ま、まあ、そのぐらいなら……。」

そこそこ、ムラムラしてはいるんで……。

じゃあ……お願い、するね……。」「

副「ふふ……♡

それなら私は……♡

会長に代わって、あなたのかわいいお尻、

舐めさせてもらうわね♡

おチンポ大きくする必要はないけど……♡

私もしてみたかったから♡」

会「では、次は私が耳舐めか♡

たっぷり感じさせてやろう……♡

さあ、手マンを始めろ♡

キミが始めた時が、私たちもスタートさせる時だ♡」

副「がんばって、書記ちゃんのこと、

イカせてあげてね♡

お尻でいっぱい、感じながら……ね♡」

書「う……っ♡

パンツの中、指、入って……♡

あ……っ♡

んっいい……♡ うっ、ああっ♡

んっううう……♡

おまんこ、ぐちゅぐちゅってっ♡

うっううっ、くうっううう……♡

キミっ、これっ♡ うっあ……♡

かなり、上手……っ♡ うっそ……♡

ううあっあああ……♡

ん、んあ、はあ、あふ、ふあっ……♡

おまんこっ、こんなっ、感じたことなんてっ♡

一度もないのになっ♡

うううう……♡」

会「ははっ、やるなあ……

さあ、こちらも行けどっ♡

っはあ……♡

お耳たっぷり、じゅるじゅる舐め回してやる……♡」

副「ごっちもお尻……♡

いただきます……♡

あゝ……♡」

書「んっ、あっ、あう、んっ、んうっ、ひあ♡

っああ、んあう、んっく、くあ……っ♡

くうっううん……♡

はっ、くっ、うううあっ♡

んううう……♡

はっ、はっああっ、んううっ、はっああ……♡

キミっ、ホントにっ♡

今日、えっちすんの、初めてなの？

んっう……♡

はっ、はっ♡ おまんこイジるのっ、

上手すぎじゃない……？

うっああ……♡

はあっ、んんあ、っくあ……っ♡

はっ、んっ♡ これっ、やば……♡

かなり、おまんこっ、気持ちいい……♡

感じまくりでっ、膝、がくがく……♡

ううっう……♡

会「ふふ……♡

指をおまんこの中に突っ込んで、

ぐちゅぐちゅずちゅずちゅ……♡

いい動きだ……♡

見ろ♡ おかげで書記の彼女もずいぶんと

恍惚そうになっているぞ♡

口から涎を垂らして、感じまくり……♡

顔もおまんこもすっかりとろけきって、

今すぐおチンポおねだりを始めても、

おかしくはないだろうなあ……♡

どうする？ やっぱりおチンポ入れてと言いだしたら♡

キミのおチンポの準備は……♡

ふふ、言わずもがなと言ったところか……♡

副「ええ♡

お尻の穴、きゅんきゅんって……♡

私の舌、締め付けてきます……♡

書記ちゃんのおまんこほじほじして、

いっぱいおチンポ、感じてるみたいですよ……♡

えっちな顔、えっちな声……♡

目の前でたつくさん、楽しめてるんですものね……♡

ふふふ……♡」

書「ち、が……♡

私は別につ、うううつ、くううつ……♡

はっ、ああああっ♡ くつつ♡ うああ……♡

でもっ、指っ、マジでっ、やば……♡

なんでこんな気持ちいいのっ♡

オナニーしても、こんな感じたこと、

一回もないのに……♡

うううあっあああ……♡

んうつ、ああん、うん、あんっ、あっ、んあ、ああ……っ♡

ひい、あはあ、ううあっ……♡

うううう……♡ だめ、見ないで……♡

私のとろけた顔、見ないで……♡

恥ずかしい、から……♡

うつくうう……♡」

会「ふふふ……♡

ダメだぞ……♡

もっと見せるんだ……♡

もっと見るんだ、キミも……♡

女を感じている時の顔♡

見せつけろ……♡

見つめてみる……♡

それだけで気分が高まるだろう♡

目の前のオスに感じさせられている♡

目の前のメスを感じさせている♡

そんな気分が、どんどん高まって……♡

もっと目の前の相手と、激しく交わりたいと♡
強く脳みそに刻みつけるんだ……♡

さあ、もっとおまんこ、激しくするんだ……♡
イカせないで、テストは合格しないぞ……♡」

副「ふふ……♡

がんばってください♡

私も応援していますから♡

ほら……♡ お尻を叩いて、がんばれ♡ がんばれ♡

ふふふ……♡」

書「も、もっと激しくって……♡

あっ♡ 待って♡ 指っ、その角度は……♡

んっううううん……♡

っああっ、うっくっ♡ ううあああ……♡

ああ、ん、んふ、んあ、んう、あ、っああ……♡

あ、ああっ、ん、んふう、んっ、んあ、あん、んう……っ♡

待って♡ 待ってっ♡ 無理っ♡

無理っ♡ それっ、やっばい♡

くうううう……♡

おまんこっ、気持ちよすぎちゃうからあ……♡

んあ、うっふ、うん、あは、あんっ、あんっ、あんっ♡

ん、んあ、あん、ああ、あん、ああ、んっ♡

はっあっあああ……♡

うっく♡ これっ、イク♡

イック♡ おまんこイチちゃう♡

だめだめだめ♡

っあっあああ……♡」

会「さあ、イカせるんだ……♡

おまんこほじりで感じまくりで、

がに股アクメしてしまいそうな彼女の……♡

キミの手で、キミの指で、おまんこアクメ♡

させてやれ……♡

イキそうな時の顔♡

イク時の顔♡

イッた時の顔も♡

しっかり見ているんだぞ……♡

ふふふ……♡」

副「どうぞ、どうぞお……♡

いっぱいお尻を舐めて、気持ちよくしてあげますから……♡

書記ちゃんのこと♡

イカせてあげてくださいあい……♡

どうぞ、どうぞお……♡」

書「くっうううっううう……♡

イクイクイクイク♡

んいっくっ♡ うっあああ……♡

だめっ♡ だめっ♡

見ないでっ♡ 見ちゃダメっ♡

なんかっ、なんか出るっ♡

出ちゃうからっ、だっめ♡ だっめ♡

だめだめだめだめえ……♡

うううっあっあっああ……♡

いっくっうううう……♡

(絶頂) んううあぁっあああ……♡

うっあっ♡ あっあっあああ……♡

あっ、くっ、うっくうっ♡

ふうううああああ……♡

はっ、くっ、あっくっ♡

っあっあああ……♡

ふー……っ♡ ふー……っ♡

ふううううっ、うっあああ……♡」

会「ふふふ……♡

また強烈にイッたなあ……♡

すばらしいじゃないか……♡」

副「はい……♡

そして……おめでとうございます♡

これで無事、ω人とも、

イカせられましたね♡」

書「はっあ、はっあ、はあ……♡

おまんこ、すごかった……♡

指でこれなら……♡

お、おチンポだったら、どれくらい……♡」

会「では、新入生くん♡

いや……我が生徒会の新人くん♡

テストは合格だ♡

生徒会へ入ることを認めよう♡

そして、ただちにキミを、おチンポ係として任命する♡

私たち生徒会のサポートを、しっかりと頼むぞ♡

生徒会の命運……いや、この学校の命運は、

キミにかかっているぞ……♡

ふふふ……♡」

副「これからはたくさん、

気持ちいいことしましょうね♡

みんなでいっしょに、楽しみましょう？

うふふふふ……♡」

書「よ、よろしくね……♡

正直私も、何が何だか、わからないけどさ……♡

まあ、気持ちよかったし……仲良くやろうよ……♡

ね？ ふふふふふ……♡」

● 4 書紀ちゃんとの甘々えっち……♡ 初仕事は処女喪失セックス……



書「んあ？ ああ、キミか。お疲れさま。

どう？ 生徒会の仕事は。

私たちω人……今はキミいれて4人か。

それだけしかないから、仕事量多くて大変でしょ。

人数が多いと統率できなくなるからって理由らしいけど、

にしたって限度あるよね……。

結局誰かにお手伝いは頼まなきゃいけないし。

もうω人は増やしたって損はないと思うんだけどな……。

他の仕事？ ううん、もうないよ。

キミのおかげで少し早く終わったよ。

ありがとね、手伝ってくれて。

と言っても……。

キミのお仕事はこれから……なんだけどね。

うん、そう……♡

今からキミに、お仕事頼むから……♡

おチンポ係としての……一応、初仕事かな……♡

この間のはテストだったわけだしね……♡

会長と副会長がいないうちに、

とっとと済ませちゃおうよ……♡

ほら、おチンポ出して……♡

ズボン、脱がしてあげるから……♡

……あれ？

意外と勃起してないね。

いつでも臨戦態勢、ってんじゃないんだ。

……へえ、ちゃんと仕事できるかどうか、不安って？

ま、そうだよね。

おチンポ係とか、今聞いても正直、

アホくさくって、訳わっかんないって思うもん。

だけど……♡

大丈夫だよ……♡

キミはこの間みたいにな、おチンポかっこよく……♡

勢い強くて濃厚な精液……♡

どぴゅどぴゅ出してくれればいいだけだから……♡

緊張なくていいよ……♡

ただキミは、私たちの……今は私の、

おもちゃになってくれればいいだけだからさ……♡

おチンポ、触るよ？ ほうら……♡

しこしこ、しこしこ……♡

気持ちいいでしょ？ 気持ちいいと、おチンポ勃起しちゃうでしょ♡

それでいいんだよ……♡

キミはおチンポ係なんだから……♡

本当はさっきまでのお手伝いだって、

しなくてもよかったのに……♡

それじゃあ悪いからって、荷物運び、

してくれて……♡

おチンポも優秀だけど、人間的な意味でも、

なかなかかっこいいよ……♡

ふふ……♡ 褒めてもらえてうれしい？

おチンポびくって……♡ どんどん膨らんできた♡

うん、いいよ……♡

いっぱい褒めたげる……♡

キミのこと……♡ キミのかっこいいおチンポのこと……♡

おチンポおっきいね……♡

ガチガチで、硬くって……♡

熱々おチンポ、私の手の中で、むくむく膨らんで……♡

このおチンポ見てるだけで、

ドキドキしてきちゃう……♡

仕事の疲れとか、ストレス、

消えてくんだよ……♡

ああ……私、自分がこんなスケベだなんて、

思わなかったな……♡

年相応に興味あるだけだって思ってたけど……♡

違うみたい……♡

私も……♡ あの会長や副会長みたいに……♡

ドスケベみたいだね……♡

ふふふ……♡

んう？ おっぱい？ ああ……♡

そんなに気になる？

私の一カップおっぱい……♡

ふふ、そうだよ♡ 一だよ、二♡

単純な大きさだと、あの～人と変わんないけど……♡

私、身体小さいから♡

カップ数で言うと、大きくなっちゃうんだよね……♡

ドキッてした？

一カップおっぱい、目の前にあるって考えただけで、

おチンポ熱くなっちゃった？

ふふふ……♡

やらしいねえ、キミも……♡

じゃあ、そんなにやらしいおチンポの味……♡

確かめさせてもらおうかな……♡

この間会長がフェラしてるの見てからさ……♡

私もしてみたかったんだよね……♡

このおっきいおチンポ、お口に加えて、

じゅっぽじゅっぽって……♡

こんなことするの初めてだから、

うまくできるかわかんないけど……♡

一生懸命やるからね……♡

行くよ……♡ おチンポ、いただきまあす……♡

んうあ……♡

っはあ……♡

あは♡ これがおチンポの味……♡

っはあ……♡

なかなか美味しいね♡

んっう……♡

(啜えたまま鼻呼吸) んっふう……♡

んう、ふうっ、んっふう、ふうう……っ♡

はっあ、っはあ、んっはあ……♡

んう……♡

おチンポ、どの辺舐めて欲しいとか、ある？

気持ちいいところ、私に教えて♡

キミのこと、いっぱい気持ちよくして

あげたいからさ……♡

んう……♡

先っぽ♡ ここだね♡

ここにベロ、いっぱい絡めて……♡

っはあ……♡

唾液たっぷり、絡めるように……♡

(啞えたまま鼻呼吸)

んふう、んふうん、ふう、ふう、ふう……♡

はあ、ふう、はあ……♡

あは、キンタマすっ……♡

ぱんっぱんになっちゃってんじゃん♡

触っていい？ んう……♡

ぐにゅぐにゅして……♡

でも、中にたっぷり詰まってるって、

わかつちゃう……♡

面白い感触……♡

はああ……♡

このままキンタママッサージしながら、

フェラチオ、進めて……♡

はー……♡ はー……♡ はーあ……♡

んっは……♡

ふっ、はぁ、はぁ……♡

んう……♡ 出ちやいそう？

射精しちやいそう？ ん、いいよ♡

出しているよ♡ おチンポ、どっぴゅん♡

私の口の中に……♡

おチンポ射精、我慢しないでいいからね……♡

出したくなった時に、出したい分だけ、

思い切り、びゅうううって……♡

それが一番気持ちいい射精でしょ？

だから、いいよ……♡

ほら、私の中に……♡

お口まんこにびゅるびゅる、しちやって……♡

(咥えたまま鼻呼吸) んっふ、んっう、んっふう、んううう……♡

(啜えたまま話す) 出して、出して、出して、出して……♡

(口内射精) んっううんっ、くっふうう……♡

んっ、おっ、んっうんっ、くうう……♡

ふっ、んっ、ふっ、ふっうう……♡

(口離す) んふー……♡ んっう……♡ ふう、ふう……♡

んっう、ふう、ふう、ふー……♡

(飲む) んぐ……♡ んぐ、んぐきゅ♡

んっぐ♡ んぐきゅ♡ んぐきゅ♡

ごっぐん……♡

っはぁ……♡ ふう、ふう、はぁ、ぁぁ……♡

ふふふ……♡

いっぱい出たね……♡

どろっどろなの、お口いっぱいになるまで出ちゃったよ……♡

精子いっぱい詰まってそうな、ゼリーザーメン……♡

こないだあんなに出したのに、

たった数日でもうこんなにしちゃうんだ……♡

でも……そういうの、かっこいいよ……♡

はぁ……♡

キミがおチンポ係に選ばれたのは、

会長の言うとおり、キミが優秀だったからなんだね……♡

こないだでも感じたけど……♡

こうして二人きりで味わってみると、

よくわかる……♡

これだけのおチンポやキンタマ、精液持ってるんなら……♡

確かに、ストレス解消えっちには一番いいかもね……♡

濃いのがたっぷり出したのに、

まだまだ勃起したまんまだし……♡

いくらでも楽しめちゃいそうだもんね……♡

ほら……♡

またおチンポ、硬くして……♡

乳首もすりすり、いやらしく触ってあげるから……♡

指先乳首に押し当てて、すりすりぐりぐり……♡

先っぽ軽うく爪当てて……♡ かりかりかりいって……♡

乳首でいっぱい、気持ちよくなってね……♡

ほら、優秀おチンポ、またガッチガチ……♡

さっき私のお口に注いだ分、

あつという間に回復して、またキンタマぱんぱん……♡

早く出さないとやばいよね……♡

いっぱいいっぱいどっぴゅんしたいよね……♡

私の中に……♡ 注ぎ込みたいよねえ……♡

ふふふ……♡

この間はごめんね♡

セックスさせてあげられなくて♡

私のおまんこ、味わってみたかったよね♡

理由、ちゃんとあつてさ……♡

私、処女なんだよね……♡

初めてなんだ……♡ セックスしたことないの……♡

キミのこのおチンポになら、

初めて、あげてもいいなあって……♡

あの時から思っ^てはいたけど……♡

～人の前でするの、ちょっと、恥ずかしくって……♡

私^の見栄のせいで、我慢させちゃって、

ごめんね……♡

本当は私だって、

キミに処女まんこほじほじしてほしかったのに……♡

指だけでアクメしちゃうようなザコまんこの、

初めて……♡

キミに捧げたかったのに……♡

だから……♡

今日……あげちゃうね♡

二人きりのうちに……♡

私の初めて……♡

はい……♡ これで、できるよね……♡

机の上に乗つかれば、正常位セックス……♡

私のおまんこいっぱい突いて、

おチンポいっぱい、気持ちよくしていいよ……♡

処女だけど、遠慮とかしなくていいから……♡

私のことなんて気にしないで、

優秀おチンポ気持ちよくして、濃厚ザーメン、

射精することだけ考えて……♡

ばこばこぱんぱん♡

おまんこ、してね……♡

んっぁ……♡

当たってる……♡ おチンポ、入り口……♡

っふう、っふう、んっう……♡

え？ 優しく……？

だから、そんなことしなくても……♡

うあっ♡

んっううっ、くうっううう……♡

ゆっくり、入ってくるう……♡

っあああ……っ♡

待って……♡ これ、ゆっくり、すご……♡

おチンポの形に、おまんこ変形していくの、

わかつちやう……っ♡

ふっ、くっ、ああっくっ、っああ……♡

んっいいい……♡

はっ、はっ、はっ、んっあああ……♡

おチンポ、入った……♡ うううっ、あああ……♡

初めてなのに……♡ こんな、おっきいの……♡

はっあ、くう……♡

う、ううん……♡ ちょっと、変な感じはするけど……♡

い、痛くはない………♡　というか、むしろ………♡

おまんこ、ぞくぞくってして………♡

き、気持ちよすぎて、ヤバい感じ………♡

これ、ピストンされたら、すぐにイクかも………♡

初めてセックスで即アクメとか………♡

変態過ぎるのに………♡

んっううん………♡

うっあっ、んっううっ、はっああ………♡

んふ、んっふ、ああ、ああ、ああん、んあん………♡

んあっ、あんっ、あっ、んあ、ああんっ♡

ああ、んっ、うん、あんっ、あ、あっ、あんっ♡

あっ、くっ、うっくうっ、んっあああ………♡

す、ご………♡

これがっ、セックス………♡

おまんこっ、セックスう………♡

はっあああ………♡

やんっ、ああ、うあんっ♡

あん、うん、あん、あんっ、ん、んあ、はあ、あふ、ふあっ……♡
ああ、ん、んふ、んあ、んう、あ、っああ……♡

おチンポ、ぱんぱん、ぱんぱんって♡

腰ごと、叩きつけられてる♡

うううっ、ああああ……♡

中で太いのっ、何度も動いて♡

入って、抜けて、入って、抜けてえ……♡

うううう……♡

あ、ああっ、ん、んふう、んっ、んあ、あん、んう……♡

んあ、んふう、うう、うあ、あう、んう、ん、んっく、くう……♡

んんんう……♡ んっああああ♡ んっううう♡

やばい、これっ、気持ちよすぎる♡

おチンポ交尾……♡

オナニーと、全然違うう……♡

んあっ、ん、んあ、あん、ああ、あん、ああ、んっ♡

んふ、んっふ、ああ、ああ、ああん、んあん……♡

ん、んあ、んっ、うん、あんっ、あ、あっ、あんっ、いやん♡

ああっああああ……♡

ふっ、ううつ、んっうう……♡

待って♡ んっううつ♡

喘ぎ声、恥ずかしい……♡

こなっ、えっちな声……♡

いっぱい響かせちゃうの、だめ……♡

うっうう……♡

はっ、はっ、キスっ♡

キスしてっ♡

キスでっ、口っ、塞いで……っ♡

お願いだからあ……♡

んうつ♡

っああ……っ♡

舌、入って……♡

んっういいい……♡

べろちゅー、気持ちいい……♡

ファーストキスなのに……っ♡

こん、な……っ♡ つぁぁ……♡

んうぁ、んっ、ん、んう、んっ……♡

やん、あんっ、いや、あん、あんっ、ぁう、うんっ、ぁ、んっ♡

んっ、うん、あんっ、ぁ、ぁっ、あんっ♡

ん、あん、はぁ、ぁあん、うん♡

んっううう……♡

だめっ♡ キスもっ♡

気持ちよすぎて……♡

全然声っ♡ 抑えらんない……♡

セックス、すごすぎ……♡

あんっ、ぁっ、んぁ、ぁあんっ♡

ぁぁ、あん、うん、うっふ、うん、ぁは、あんっ、あんっ、あんっ♡

ん、んぁ、あん、ぁぁ、あん、ぁあんっ♡

んふ、んっふ、ぁぁ、ぁぁ、ぁあん、んぁん……♡

ぁっ♡ ぁっ♡ ぁぁっ♡ んっうう……♡

んううあっあっああああ……っ♡

ぱんぱん速いっ♡

だっめ♡ だっめっ♡

おチンポずぶずぶっ♡ 強くてっ♡

速くてえっ♡ あっああああ……っ♡

気持ちよすぎちゃうっ、からあ……っ♡

んっうあっ、あっふっ、おっ、んっお、んうっ♡

んいいい……っ♡ はっ、はっ、んっふう、はあああ……っ♡

はっ、はあっ、んっあっ、はあああ……っ♡

んっ、んっ、んっ、んうう……っ♡

ううううう……っ♡

う、うんっ♡ 出るんなら、出して……っ♡

おチンポ、射精い……っ♡

いっぱい出してっ♡ ううううう……っ♡

中っ♡ 中でいいからっ♡

そのまま奥にっ、おチンポぎゅうって♡

奥に押し付けて、どぶどぶどぶうって♡

出してえ……♡

っあああ……♡

イクっ、んいっくっ♡ イクっ♡ 私も……♡

いっしょにイクから……っ♡

おまんこ気持ちよくなるからあ……♡

はっあああん……♡

っふう、ふう、っはあ、はあ……っ♡

あっ、んっあ、んうああ……っ♡ はああ……っ♡

イクク♡ イック♡ んいっく♡

ううっううう……♡

あっく、んううう……っ♡

んっひいっ、はああ……っ♡

イクイク♡ イック♡ うっあああっ♡

イックううう……♡

あっ、あっ、あっ、あっ、あっ、ああああ……♡

(絶頂) んううああっあああ……♡

うっあああつ、はっあああ……♡

あああつ、熱い♡♡ びゅるびゅるって♡♡

うっうう……♡

精液、出てる……♡♡ 出されてる♡♡

うっ、ふっ、くうううっ、っあああ……♡

はっ、はっ、はっ、ううう……♡

っはあ、はあ、はああ……♡

これが、中出し……♡

奥にたくさん……♡ 子宮、べっとり……♡

ザーメン、絡みついでる……♡

はあ、はあ……♡

なる、ほど……♡ 確かにこれは……♡

すごい、ストレス……♡ 解消できちゃうかも……♡

だって今、私……♡

すっごく、いい気分……♡

おチンポ係……♡ やっぱ、すごいね……♡

はあ、はあ……♡

これからもちよくちよく、使わせてもらうからね……♡

他の2人の相手も大変だろうけどさ……♡

出来るだけ、おチンポ、元気なままにしといてよ……♡

よろしくね……♡

ふふふふふ……♡
「♡」

● 5 副会長のお仕事同時並行えっち♡ 仕事中でもおチンポハメまくり



(フェードイン)

副「(啞えたまま鼻呼吸) んっふー……♡

ふううう……♡

んっ、ふっ、んっううう……♡

っはぁ……♡

では、いいですか？

先日募集した、文化祭で各クラスでの催し物の希望……♡

私が読み上げますから、

しっかりホワイトボードに記録してくださいね♡

それでは、まず……♡

っはぁ……♡

メイド喫茶、執事喫茶、お化け屋敷、手作りの小物販売……♡

この辺りは毎年の定番ですね……♡

お次はぁ……♡

演劇、写真館、料理教室、ミニコンサート……♡

この辺りは各部活動の部員からの希望ですね♡

みなさん、やりたいことがたくさんあって、

いいですね……♡

他にも……♡

んっぁ……？

なんですか、これは？ コスプレ喫茶？

バニー、逆バニー、猫耳スク水ニーソ……♡

いけませんね、こんな出し物は♡

学園の風紀を乱します♡

これはメモらなくても結構ですよ♡

まったくもう……♡ ふふふ……♡

え……？

学園風俗……？ 「スデリヘル……？ 出張マッサージ……？

イタズラ目的としか思えませんね♡

まったく、文化祭を何だと思ってるんでしょうか♡

ふう……♡

あとは……♡

似顔絵、大スゴロク、カルタ大会……。

だいたい去年と、似たようなものですね♡

ええと、次は……♡

んえ？

はい？ どうしました？

え……？ フェラされながらのお仕事が、

辛い……ですか？

ふふ……♡ ダメですよ♡

ちゃんとお仕事してくれないと……♡

おチンポ係とはいえ、風紀委員の一員なのですから♡

このぐらいのことは、こなしてもらわないと……♡

とはいえ……♡

おチンポ係になったばかりのあなたにはさすがに、

こちらの逆イラマフェラチオは、ちょっと、

激しすぎましたかね？

おチンポいっぱいしゃぶられて、すすられて……♡

ずうつとびくびくさせっぱなしでしたものね♡

せっかくの板書も、ふふ……♡

文字ががたがたで、読みづらいですし……♡

でも、こうやってあなたのおチンポを味わいながらでないと、

けっこうキツいですよ？

文化祭関係のお仕事は♡

毎回、さっきみたいなイタズラみたいな意見や当初ばかりで……♡

会長も去年は、毎日イライラしてましたよ……♡

だけど、今年は……♡

っふう……♡

あなたというおチンポ係がいるので、

大丈夫だとは思いますがね♡

私も大助かりです♡

ありがとうございます♡ ふふふ……♡

ん……♡

タマタマ、ふるふるって……♡

イキそうになっちゃいましたか？

はい、いいですよ♡

どうぞ、いつでも、好きなように……♡

私のお口に、たっぷりお出ししてくださいね……♡

(啜えたまま鼻呼吸) んっふう……♡

んっ、ふう、んっうんっ、ふうう……♡

(啜えたまま話す) はあい、どうぞお……♡

おチンポぴゅっぴゅ、してくださあい……♡

(口内射精) んっううう……♡

んっ、ふっ、んっうんっ、ふうう……♡

(口離す) んっふう……♡

ふう、ふう、ふう……♡

(飲む) んっぐ……♡

んぐ、ごきゅ、んごきゅ♡ ごっきゅん……♡

んう、んうん、ごっきゅ♡ ごっくん……♡

っはあ……♡

たっぷりのおチンポザーメン……♡

喉に引っかって飲みづらいほど濃厚で……♡

とってもすばらしいですね♡

あ、待ってください♡

まだ中に、残り汁が……♡

っはぁ……♡

キンタマの中からも、射精し切れなかった残り、

搾り出すように……♡

ぎゅっぎゅっぎゅう……って……♡

はぁ……♡

ほら、まだこんなに出てきます……♡

ちやぁんと全部、啜り取ってあげますからね……♡

っはぁ……♡

(飲む) ごっきゅん……♡

はい♡ これで全部、飲み干しました♡

おチンポお射精、ありがとうございます♡

ふふふ……♡

あなたがいると、毎日のお仕事も楽しいですね♡

お仕事をやめるわけにはいきませんから、

どうしてもながらえっちになってしまいますけど……♡

だからこそ、お仕事へのストレスが、

相当緩和されているみたいで……♡

去年と比べれば、かなり楽になっています♡

本当に、おチンポ係になってくれて、

ありがとうございます♡

さて……お次は……♡

ああ、そうでした♡

来週、文化祭について、

全校集会でお知らせをしないといけないんです♡

会長に、その原稿の添削を任されていたので、

それをやらないと……♡

では……♡

私がここで、原稿の読み上げと添削を行っているので、

後ろから、私のお尻……♡

おチンポでどちゅどちゅ、突いてくれますか？

ええ、そうです♡

お尻えっち……♡ アナルセックスです♡

おまんこ以外は初めてですよね？

どうぞ、私のお尻で、アナル童貞……♡

捨てていってください♡

ん……♡

はい、そうですよ……♡

私のお尻、あんっ♡

ぎゅって掴んで……♡ 尻肉かきわけて、

お尻の穴……♡

アナルにおチンポ押し当てて……♡

一気にでいいですよ……♡

おチンポ、ずつぶうって……♡

んうううん……♡

あっああ、はああ……♡

ああ、気持ちいいです……♡

お尻に、熱くて硬いの、突き刺さって……♡

原稿の添削は、細かい修正が必要で、

結構大変な作業ですから……♡

お尻、いっぱい気持ちよくしてくれると助かります♡

どうかお願いしますね♡

ではどうぞ♡

お尻えっち、ぱこぱこどうぞ……♡

んっうあ……♡

んっ、あっ♡ お尻っ♡ ずぶずぶってえ……♡

はい♡ はい♡ お上手ですよ……♡

それではそのまま、続けてくださいね……♡

私はお仕事、進めますから……♡

ええと……♡

みなさん、おはようございます。

生徒会から、文化祭についてのお知らせをさせていただきます。

今年の文化祭のテーマは、一致団結です。

一致団結とは、たくさんの方の心をひとつにし、協力し合うことです。

その言葉通り、たくさんの方、つまりクラス全員、

学校の生徒たち全員がひとつとなって、

文化祭の成功を願う言葉であり……。

うーん、この説明はちょっとくどすぎる気がしますね……。

一致団結の説明はいらなそうですし、もう少し簡潔に……。

今年の文化祭のテーマは、んっうあ……♡

あっ、んっ、お尻、熱……♡

ふっう、はあ……♡

今年の文化祭のテーマは、一致団結です。

クラスの全員、学校の生徒たち全員がひとつとなって、

文化祭を成功させましょう。

よし♡ 出だしはこのぐらいで……♡

んっあ……♡ おチンポ、おっき……♡

いいところ、当たって……♡

あっ、あっ、そこっ、そこもっと、してください……♡

お尻の穴、きゅうきゅう締め付けますから……♡

はっああん……♡ んっ、はっ、んうう……♡

ええと……♡

また、募集したスローガンが決定いたしました。

今年のスローガンは、想像力を羽ばたかせよう、です。

生徒のみなさんの想像力を働かせて、

かつてないほどの、新鮮で、活力に満ちた文化祭にいたしましょう。

ここも、んっあ……♡

少し、言葉が硬いですね……♡

会長はこういう言い回しが好きみたいですが、

生徒たちに聞かせるとなると……♡

生徒のみなさんの想像力を働かせて、

今までにない、生き生きとした、元気いっぱいの文化祭に、んっああっ♡

んっああっ、んっくっ♡

おチンポ、膨らんで……♡ あは……♡

おチンポ、元気いっぱいになってますね……♡

ふふ、その調子です……♡

今までにない、生き生きとした、

元気いっぱい文化祭にいたしましょう、と……♡

次は、んっ、あっ、んっう……♡

文化祭は、全校生徒が参加し、作り上げるものです。

各クラスの出し物は、保護者や、

地域の方々からも好評を得ており、

毎年開催を楽しみにしている方も多いそうです。

今年も訪れる人々を喜ばせるため、

各クラスでの話し合いや準備を、しっかりと行うように――

んうっああ……♡

あっ、あっ、ピストン、速く……♡

あっ、んっ、あっああっ、はっああ……♡

各クラスでの話し合いや準備を、

しっかりと行うようにしてください……っ。

各クラスでの出し物については、

現在、皆様から希望する出し物を募集しております。

厳正な抽選により、決定いたしますので、

発表をお待ちください……っ。

以上、生徒会からのお知らせでしたあ……♡

うううう……♡

ああっ、あああっ♡ イクっ♡

お尻っ♡ お尻ばちゅばちゅっ♡

いっぱい**ずぼ**ずぼしてもらってっ♡

イクっ、いくっ♡

あっ、あっ、あっ、あっああ……♡

（絶頂）はっああああん……♡

んううああっ、んっううう……♡

お尻にどぶどぶ、熱いの、いっぱい……♡

ああ……♡ アナル中出し射精……♡

すごい勢いで、ぴゅっぴゅっぴゅうって……♡

してますね……♡

はあ、はあ、っふう……♡

んっああ……♡

はあ、ふう……♡

はあ、はあ……♡

おチンポ、ありがとうございます……♡

どうでしたか？ 私のお尻……♡

お仕事があるので、あまりあなたに構えませんでした……♡

気持ちよかったですか？

ふふ、ありがとうございます♡

では……♡

原稿の添削も終わったところですし……♡

最後はそこに座って……♡

ご褒美おまんこ、いたしましょうか……♡

はい……♡

密着対面座位で……♡

私のエカップ、むぎゅうって押し付けながら……♡

おチンポ、挿入……♡

あっあああん……♡

はあ、っふう……♡

ふふふ……♡

あっ、っはあっ、んううあっ、はああ……っ♡

っはあっ、っはああ……っ♡

はっ、んっ、はっああ……♡

ふふふ……♡

おまんこ、いかがですか……♡

お尻とどっちが好きです？

ふふふ……♡

っああ……♡

私は、どちらでも……♡ んん……♡

もちろん、いい意味で……♡

どちらでも、あなたのおチンポ、

楽しめていますよ……♡

あなたのおチンポ、大きくて……♡

熱くて、たくましく、硬くなつてえ……♡

あつ、あつ、んっあつ、はぁあ……っ♡

んっ、あつ、あつ、ぁぁぁあ……っ♡

はっぁぁあ……♡

それに、なにより……♡

あなたのお顔……♡

さっきは後ろからしていたので、

見えませんでした……♡

おチンポしている時の、

あなたの必死そうなお顔が、

とってもかわいらしくて……♡

大好きです……♡

あは……♡

あつ、あつ、あつ、あつ、ぁぁぁあ……っ♡

っはあつ、っはあつ、んんんっ、はっ、ふうっ、っはあつ♡

はっぁあ……♡

おまんこきゅうきゅう、締め付けるの、
止まりません……♡

いっぱいおチンポ、気持ちよくして

あげたくなって……♡ んっはぁ……♡

えっちな腰振りも、たっくさん……♡

あなたにびゅーびゅー、たくさんお射精してほしくて……♡

ぬちゅぬちゅぱんぱん……♡

してしまいます……♡

ああああ……っ♡ んっくうぁ♡ んっいい……♡

はっ、ふっ、はっ、はっ、はぁっ、んうぁああ……っ♡

はっぁああ……♡

よしよし、よしよし……♡

おまんこ気持ちいいですね……♡

いっぱいおチンポで、楽しんでくれて、

いいですよお……♡

あなたのお仕事は、おチンポ係……♡

私たちの疲労やストレスを、このおチンポで、

軽減させるのがお仕事ですが……♡

そのあなたがストレスを溜めるようでは、

意味がありませんからね……♡

あなたも楽しく、気持ちよく、

セックスが好きになるようにしてあげますからね……♡

いっぱい甘えていいですからねえ……♡

んうあああつ、あああつ、あつ、うああつ♡

ああつ、んうあああ……っ♡ はっ、はあっ♡

対面座位でしたら、このままお尻……♡

先ほどあなたがたっぷり犯してくれたお尻……♡

ぎゅうって掴んで……♡

お手々もいっぱい幸せに、気持ちよくしてください……♡

んっあ……♡

はい、そうですね……♡

お尻むぎゅむぎゅ……♡

抱き着くように手を回せば、おっぱいだって……♡
もっと強く、ぎゅゝって♡

押し当てられちゃいますからねえ……♡

よしよし、よしよおし……♡

おチンポ、硬くなってますよお……♡

いっぱい気持ちよくなって、

私のことも気持ちよくしてくれて、

かっこいいおチンポですねえ……♡

ふうううつ、んうあああ……♡

はぁっ、はぁっ、んっぁ、あああ……♡

はっぁああ……♡

またお射精しちやいそうですか？

はい、いいですよ……♡

いっぱい出してくださいね……♡

私のおまんこの中に、どうぞ……♡

遠慮なく、お漏らしお射精……♡

んっあ……♡っ

あああっ、あああっ、っんんん♡

っああっ、っんっ、んんっあっんんいっ♡

あはっ♡ 突き上げピストン……♡

ご奉仕おまんこするはずだったのに、

そちらの方からなんて……♡

いっっ、いっああっ、あっ、っんん……♡

んっううううっああっ、っあっ♡

あんっ、あああっ♡

気持ちいいですっ♡

ピストン上手で、かっこいいです……♡

ああっ、っんんっ、んんっ♡

あっ、あああっ、あああっんんっああっ♡

あっ、あっ♡ またイクっ♡

私もまたっ♡ おまんこイキますっ♡

んっうんっ、はあああ……♡

んっあっ、イク♡ イク♡

んううあああ……♡

出してください♡ おまんこびゅーびゅー♡

中出しお射精……♡

いっぱい出して……♡

タマタマの中身、スツキリさせちゃう、

気持ちいいお射精……♡

してください……♡

あんっ、あっ、あっんっ、っいいっ♡

っいいっ、いいいああ……っ♡

イク♡ イク♡ イキますっ♡

んっうん……♡

んっ、んっうううっ、うああっ、あああああんっ、んっ♡

あっ、あっ、っあああっ、んっ、ああああんっ♡

んっうう、はっあああ、んっああんっ♡

やあああああ……♡

んううああああ……♡

(絶頂) んううはあっあああああ……♡

あああっ♡ んっああ♡ あっくっ♡

はっあああん……♡

んっううう……♡

ふう、はあ、ふう、ふう……♡

ふふふ……♡

よしよし、よしよし……♡

いっぱい出せましたね……♡

お腹の奥が、とっても温かい……♡

ザーメンたっぷり注がれて、たぶんたぶんって、

お腹いっぱいです……♡

たくさん出せて、かっこいいですね……♡

さすが私たちのおチンポ係……♡

あなたがいてくれて、本当に、

助かります……♡

ふふふふふ……♡

これからもいっぱい、私たちのこと、

助けてくださいね……♡

みんな、あなたに期待してますから……♡

よろしく願いますね……♡

ふふふふ……♡」

● 6 禁欲生徒会長とえっち解禁強烈交尾♡ 発情ハメ穴何度も種付け♡

会「いたか、新人くん……っ♡

ああ、よかった……♡

ここにいてくれると信じていたぞ……♡

ふふふ……♡

このところのテスト期間で、ずっと禁欲していたからな……♡

しかし、それももう終わりだ……♡

生徒会長として生徒たちの頂点たらんと、

学年首位を守るべく、毎日勉学に励んだが……♡

もうその必要もない……♡

さあ、するぞ♡ おチンポを出せっ♡

さもないと、押し倒してしまいかねん……♡

キミという人間を尊重するために、

どれだけ発情してしようと、

逆レイプだけはすまいと誓っているからな……♡

キミの意志で、キミ自身のおチンポを、

私の前にさらけ出してくれ……♡

さあ、早く……♡ 早くするんだ……♡

ああ……♡ それでいい♡

これで無事、合意が取れたな……♡

はは……っ♡

ああ、辛抱たまらん……っ♡

さっそくおチンポ、いただかせてもらうぞ……っ♡

はああ……♡

んっはあ……♡

ふふふふふ……♡

ぷっは……♡

ああ、おチンポの味い……♡

ずっとこれが欲しかったんだ……♡

私はテスト期間中、禁欲した方が、

いい結果が出るタイプの人間だからな……♡

だというのに、キミをおチンポ係に任命して早々、

テスト期間に入ってしまったて……♡

いつもよりもさらに苦しかったぞ……♡

だが、おかげで今回のテストは、

自分の中でも会心の出来映えだったぞ……♡

ある意味ではキミのおかげだ♡

感謝しているよ……っ♡

そういうわけだから……♡

その分のお礼……♡

私が今まで我慢していた分も合わせて……♡

たっぷりとおチンポ、

楽しませてもらうからなあ……♡

(啜えたまま鼻呼吸) んっふうう……♡

ふっう、ふっううっ、んっ、ふっ、ふうう……♡

っはぁ、っはぁ、はっぁぁ……♡

ぁぁ、おチンポの味、美味すぎる……♡

今まで我慢していた分、

舌が敏感になって、繊細な味わいが広がるようだ……♡

おチンポの味……♡

汗、精液、おしっここの味……♡

それぞれが交わったハーモニー……♡

舌が踊ってしまう……♡

ほうら……♡

もっと感じていいんだぞ♡

いっぱいおチンポふくらませろ♡

私のために♡ おチンポ勃起い……♡

私の下品なフェラ顔、いっぱい見ていいぞ……♡

全校生徒の男子の中で、キミだけが見れる、

ドスケベな表情……♡

多数の男子が、私をオカズにオナニーぶっこいてる中で、

キミだけが、本物の生徒会長の、

本気フェラ……♡ 味わえるんだぞ……♡

っはぁ、はっぁぁぁ……♡

だから、くれ……♡

いっぱいスケベな表情、見せてやるから……♡

おチンポ興奮させるためなら、

エカップおっぱいだって、いくらでも見せる……♡

クソデカブラを顔に被って、

たっぷりくんくんしてもいいぞ……♡

発情メスフェロモンのたっぷり染みこんだ、

ブラの内側……♡

そこらの男子なら、一嗅ぎするだけで射精してしまいそうな、濃厚メス臭、味わせてやるぞお……♡

それともパンツの方がいいか？

キミのおチンポおしゃぶりして、

あっという間にまん汁染みこませてる、

脱ぎたてパンツ……♡

いつだか校内で、パンチラ写真が裏取引されていたほどの、

大人気の生徒会長パンツ……♡

エロ蹲踞△字開脚で見せてやる……♡

濡れ濡れパンツ、いっぱい見せてやる……♡

これでおチンポ、もっとギンギンにい……♡

(啜えたまま鼻呼吸) んっふううう……♡

ふうううう……♡

ふっ、ふっ、ふううっ、んっうう……♡

はっ♡ はっああっ♡ くうっううう……♡

おチンポの味、匂い……♡

脳みそに響く……♡

私のメスの部分、ダイレクトに叩いてくる……♡

おチンポ、美味し過ぎるう……♡

はっ♡ はっ♡ はっ♡

くうっううう……♡

んっうん……♡

何？ 出てしまいそうだと♡

ふふ、いいぞ……♡

ああ、もちろん構わない♡

我慢しなくていいから、とっとと出してしまえ……♡

ほら、我慢汁が漏れてるぞ♡

だが、私はもう、こんなものでは

満足できない身体になっているんだっ♡

精液♡ ザー汁っ♡ 飲まないとっ、

治まらないんだ……♡

だから出せ……♡ 出してくれ……♡

いっぱいどぶどぶっ♡

お口の中に、びゅーびゅーお漏らし……♡

喉奥射精で、どっぷり吐き出してくれえ……♡

(啜えたまま鼻呼吸) んっふううう……♡

ふう♡ ふううっ、んっふううう……♡

(啜えたまま話す)

出せ♡ 出せ♡ 出せ♡ 出せ♡

イケ、イケ、イケ、イケえ……♡

(口内射精) んうおおっお……♡

んっううっ、んっぷっ♡ んっうんっ、

んっふうううん……♡

んっ、ふっ、んっうっ、くっうっう……♡

(口離す) んっうっ……♡

んっ、ふっ、んっふう、んっうっ……♡

(咀嚼) んうえあ……♡ んあむ、あむ♡ はあむ♡

んうん……♡ んっちゅ、ちゅっ、んっちゅう……♡

じゅるるう……♡

(飲む) んっぎゅ……♡ んぎゅっ、んっぐんっ♡

んぐく♡ ぐっぎゅっ、ぐっぎゅ♡

ごっぎゅん……♡

ぷっへあ……♡

あー……♡ 美味しい……♡

最高の味だあ……♡

ふー……♡ ふー……♡ ふううっ……♡

これを味わいたくて、私はずっと……♡

はあ、はあ……♡

ああ、待て待て……♡

まだお楽しみが残ってるじゃあないか……♡

おチンポの奥に残っている、

恥ずかしがり屋の精子くんたちをだな……♡

こうやってえ……♡

っはあ……♡

きれいに吸い出してやらないと……♡

はっあああ……♡

ほうら、まだまだこんなにたっぷり……♡

おチンポの奥に、たんまり残ってるものなんだ……♡

(飲む) んっう……♡ んぐ、ぐきゅ、ぐくん……♡

っはあ……♡

ふうふうう……♡

ああ、美味かった……♡

やはりキミは優秀だ……♡

半端な精液では、この発情は抑えられなかったろうからな……♡

最高のおチンポ係だ……♡ ふふふ……♡

だが……♡

発情が抑えられてなお、私は……♡

キミとのセックスを望んでいる……♡

ずっと我慢していたんだ……♡

ちょっと治まったぐらいで、はいおしまい、とはならんからなあ……♡

さあ……♡ 来い……♡

キミのおチンポ、私の中へ……♡

キミもまだまだイケるだろう？

私をもっと、満足させてくれ……♡

今日はおまんこの中、奥の奥まで疼いて、

止まらない気分だ……♡

一番奥までチンポを突っ込んでくれ♡

ばっちゅんばっちゅん犯しまくってくれ……♡

種付けプレスと聞いて、わかるか？

ああそうだ♡ 私の上に、全体重、乗っけて……♡

私のおまんこをめちゃくちやにするような、

強烈ピストンを頼むぞ……♡

今日まで、他の～人とセックスしていたんだろう？

キミの実力も上がっているはずだ……♡

私のおまんこで、確かめさせてくれ……♡

んっう……♡

そうだ……♡ おチンポ、そのままくっつけて……♡

くうああ……♡

ああ、熱い……♡ おチンポ、焼けた鉄のように……♡

これが入ってくるのか……♡

こんなに雄々しいオスチンポ……♡

ずっしり重たい種付けプレスで、こいつをぶちこまれたら……♡

はー……っ、はー……っ、んっはあ……♡

つくうう……♡

うっあっあああ……♡

っああ、深い……♡ おチンポ、一気に……♡

ううううあああ……♡

はっ、ふっ、うつくっ、っあああ……♡

おチンポ、奥う……♡ ずぶぶう……♡

うっ、あっ、あっああ、はっああ……♡

んっあああっんっ、んいいっ、いいいい……♡

いいっあっ、んんんうっ、うっああっ♡

んっいいいい……♡

気持ちいいっ♡ おチンポっ♡

奥までじゅっぷりっ♡

強烈チンポお……♡

ああああっ、ああんっ、んんっ♡

んんんああんっ、あああっんいいいい……♡

っあああ……♡

最高だっ♡ 久しぶりのセックスっ♡

押さえ込んでいた発情まんこがっ、喜んでっ♡

うううう……♡

ぐっぽりおチンポくわえ込んでっ♡

おまんこひだひだおチンポに絡みついてえっ♡

っあぁっ、んんんっ、っううっ、うぁっ、ぁぁ……っ♡

んんっ、んっあぁっ、ぁぁっ、っんんっ、っあぁっ♡

っあっあぁぁぁ……♡

うううっ、はっあぁぁ……♡

気持ちいいっ♡

気持ちよすぎるっ♡

キミのおチンポっ、優秀すぎてえ……♡

んうううっ、あぁっあぁぁ……♡

あんんんいっいっ、っあぁぁあぁあっんっ♡

んううっ、うぁぁっ、あっ、あっん……っ♡

うううっ、くうううっ♡

顔っ、顔を、こっちへ……♡

ああ、そうだ……♡

キス、するぞお……♡

んうえあ……♡

はっあああ……♡

種付けプレスで子作り交尾なんだ……♡

愛し合う夫婦のように、ドスケベろちゅー……♡

しないとだろお……♡

んあっ、っんっ、んあっ、っんっ、んiiiiiiiiiiii♡

っあっ、ああああ……っ♡

うっあっあああ……♡

おチンポずんずん♡ さらに深くうっ♡

うあっ、あんっ、ああああっんっ♡

ああっ、あんっ、っiiiiii……っ♡

ううううっ♡

好きっ♡ 好きだっ♡

種付けチンポっ♡ ぶちゅりプレスう……♡

子宮っ♡ 押されてっ、くううっ♡

あっあああっああ……♡

うあああっ、んんんっあっ、ああっんっ♡

んんああんっ、いいいいっ、いいいっあああ……っ♡

んうあっ、あああっ、んううあっ♡

ああっ、はっああ……っ♡

ひっ♡ ひいっ♡

んいっ、あああ……♡

下品な喘ぎ声っ♡ こんなに上げてえ……♡

勇ましいと評判のっ、この私が……っ♡

女子にだってモテモテのっ♡

生徒会長があ……♡

たくましさすぎるオスチンポの虜になっているう……♡

うううあああ……♡

好きっ♡ 好きっ♡ チンポ好きっ♡

チンポで犯されるのっ、最高だあ……♡

あんっ、んっ、あんっ、あんっ、んっ、ああんっ♡

あんっ、ああんっ、あんっ、あんっ♡

はっ♡ はっ♡

キミっ♡ つばをっ♡ 涎っ♡

私の口に垂らしてくれ……♡

そっだ♡ 涎、飲ませてくれ……♡

キミの味♡ 直に、味わいたいんだあ……♡

(口を開けて話す) ほら、ここだあ……♡

ここに、流し込んでくれえ……♡

(涎垂らされる) んっえ……♡ ええああっ♡ あっああ……♡

(飲む) んっう、ごっくん……♡

はっあああ……♡

ああ、美味しい……♡ 美味し過ぎる♡

キミの味い……♡

んっううっ、はっああ……♡

次は私だ……っ♡

いっぱい涎、流してやるから……っ♡

べろちゅー、もっとお……♡

っへああ……♡

ほら、とろとろいっぱい、口の中に……♡

っふっ、っふう、ふううう……♡

ううあっあああ……♡

ばちゅばちゅばちゅばちゅっ♡

おチンポ強くう……♡

うっああああ……♡

あんっ、あんっ、んっ、あんっ、あんっ、あんっ♡

あんっ、んっ、んっ、ああんっ、んっ、ああんっ♡

んううああっ、これっ、来るのかっ♡

精液っ、射精い……♡

種付けプレスでっ、孕ませどっぴゅん……♡

うううううう……♡

ああっ♡ いいぞっ♡ もちろんだっ♡

くううう……♡

ずっと待っていたんだっ♡

キミの精子っ♡ 子宮でっ、ごくごく……♡

だからくれっ♡

いっぱい出してっ♡

射精してくれえ……♡

ううううう……♡

キミの射精でイキたい……♡

種付けどっぴゅん射精でアクメしたい……♡

くれっ♡ くれえっ♡

どくどくっ、中出し……♡

あんっ、んっ、あああ……っ♡

ああんっ、あああんっ、あんっ、ああんっ、あつくう……っ♡

っああああ……♡

来るっ♡ 来る来るっ♡

ザーメン来るうっ♡ っああああ……♡

うううああっ、あっあああ……♡

んっいつ、んっひいつ♡

来る来るっ♡ イック♡

おまんこイック♡ おまんこイックうう……♡

んううあっ、はああああ……♡

んいっいつ、はああああ……♡

あっ、うっ、あっ、ああああ……♡

んいっあああっああ……♡

(絶頂) んううああっああああ……♡

んいっいつ、うううううっ♡

びゅぐびゅぐっ、出てるっ♡

おチンポぶっちゅりっ♡ 奥っ♡

押し付けられてえ……♡

ううううっ、くううううっ♡

あっ、くっ、あっああっ、はっああああ……♡

おチンポ、すごい……♡

私のためにつ、こんなにいっぱい……♡

はっ、はっ、はっ、はっああ……♡

んううう……♡

ふううう、ふううう、はっ、ふっ、はっあああ……♡

はぁ、はぁ、はぁ……♡

なに……？ はは、何を言っている……♡

まだ終わりじゃないぞ……♡

何日も我慢していたんだ……♡

まだまだ、もっと……♡

キミのおチンポ、味わいたいんだ……♡

今度は後ろから頼む……♡

動物みたいに後ろから、おまんこにおチンポ、

叩きつけてくれ……♡

精液でたぶたぶになった子宮を、

ずんずんどちゅどちゅ♡

さらに突き上げてくれえ……♡

んうぁ……♡

くうぁっぁぁぁ……♡

おチンポ、あっつい……♡

んっ、あんっ、ぁぁぁあんっ、ぁぁあんっ♡

ぁあんっ、ぁぁぁあんっ、あんっ♡

っぁぁぁ……♡

後ろからもっ、いい……♡

腰を掴まれてっ♡

どちゅどちゅぐちゅぐちゅう……♡

バックでハメるのっ、気持ちいいぞお……♡

あんっ、ぁあんっ、うあんっ、ぁあんっ、うんっ、んっ、あんっ♡

あんっ、んっ、んっ、あうんっ、あんっ、んっ♡

あっあああっ♡

声っ、止まらないっ♡

こんな大声出していたらっ♡

外に聞こえてしまうのになっ♡

生徒会室でっ♡ いかかわしいことをやっている♡

学校中にバレてしまおう……♡

生徒会がっ、風紀を乱すことなどっ♡

いけないと言っのにな……♡

うあんっ、あんっ、うんっ、あんっ、んっ、うあんっ、ああんっ♡

あんっ、あああうああんっ、ああうああんっ♡

うううっ、くうううう……♡

うっ、あっ、あっあああっ、んっいい……♡

んうっううっ!?

はあっ、はあっ、はっああ……♡

い、勢いをつけすぎて、抜けてしまったのか……?

ふふ、仕方がないな……♡

ああ、次は気をつけてくれ……♡

まだまだ私は、キミのおチンポ、たっぷりと感じ――

んっいっ!?

な……っ、キミ、そっちはちが――

うっあっああああ……♡

お尻……♡ お尻いい……♡

アナルにおチンポっ、ずっぷりとお……♡

うっあっああああ……♡

うあんっ、あんっ、うんっ、あんっ、んっ、うあんっ、ああんっ♡

あんっ、あああうああんっ、ああうああんっ♡

っくうううっ、あっああああ……♡

アナルセックスっ♡

じゅぷじゅぷじゅっぷうう……♡

うううあっ、やばいっ♡ やばいぞっ♡

これはあ……♡

キミのぶっといおチンポっ♡

お尻で味わうのはっ、んううっ、あっあああ……♡

うああんっ、ああうあんっ、ああんっ、ううん……っ♡

ああんっ、んっ、うあんっ、あんっ、んっ、うんっ♡

おかしくなるっ♡

頭っ、変になりそうだぁっ♡

うううっ、はっあああ……♡

おチンポ気持ちよすぎるんだぁ……♡

んっ、うああんっ、ああうんっ、ああんっ、あうう……っ♡

ああああうんっ、あんっ、あんっ、うんっ、うんっ♡

んっいいいっ♡

おっぱいいいっ♡ 驚掴みっ♡

くうううっ、あっあああ……♡

後ろからっ、エカップ爆乳っ♡

揉み込まれてっ、くううあああ……♡ んっいいいっ♡

粘土みたいになっ♡ ぐにゅぐにゅっ♡

むぎゅむぎゅ……♡

弄ばれてえ……♡

んっ、ああんっ、うんっ、あうんっ、んっ、あんっ♡

んっ、うんっ、んっ、つくう……っ♡

っあっああああ……っ♡

だめだっ♡ またイクっ♡

こんなの我慢できないっ♡

アナルイクっ♡ お尻でイクっ♡

アナルアクメっ、してしまううう……っ♡

んっ、ああうあんっ、あんっ、んっ、うんっ♡

ああんっ、うあんっ、ああうああ……っ♡

っああああ……っ♡

ああっ♡ 出してっ♡ 出してくれっ♡

こっちももうっ♡ 限界なんだあ……♡

これ以上されたらっ♡

お尻っ♡ おかしくなるからっ♡

くうううう……っ♡

んんんあ……っ♡ はっああん……♡

あんっ♡ んっあんっ♡ んううっああ……♡ うっ♡ くっ♡

っああっ♡ イクイク♡

イクっ♡ くらうっ♡ ひっぐうっ……♡

うっあっ、あああっ♡

んっいいっ♡ んっひいい……♡

イッグ♡ イッグ♡

お尻イグっ♡ アナルイグっ♡

お尻セックスっ、ケツアクメええ……♡

あああっ、んっいいっ、あああっ、

うううあああ……♡

イッグ♡ イッグ♡ イッグ♡

イッグっううう……♡

んっいいっいいあっあああ……♡

(絶頂) んっあああっあああ……♡

うううあっ、はっあっあああ……♡

うううっ♡ くらううっ♡

ふっ、はっ、ふうっ、うううあああ……♡

ふー……っ♡ ふー……っ♡

ふうううっ♡ っあっあああ……♡

はあ、ふう、はあ、はあああ……♡

お尻、熱い……♡

なんて勢いの強い、射精なんだ……♡

尻穴、たっぷり……♡

種付けされてしまったあ……♡

最高だあ……♡

やはりキミこそ、我が生徒会の、

おチンポ係にふさわしい……♡

たった一人の男だ……♡

ありがとう……♡

私たちのために、働いてくれて……♡

ありがとう……っ♡

ふふふふ……♡」

● 7 今度は自宅でハーレムえっち♡ 横並びおっぱい堪能しちゃう♡

会「……ということがあったわけだが……。

案の定、生徒会に投書があつてな。

校内でいかがわしいことをしている連中がいるから、

生徒会で取り締まってくれ、と……。」

副「あらあら……。それはそれは……。」

書「いや、当たり前ですって……。

しかも、風紀委員にじゃなく生徒会に投書って……。

普通にバレてるだけなのを、

情けをかけてもらってんじゃないですか？ これ……。」

会「かもしれないな。

まあ、そういうわけだから、今日からはこのように、
おチンポ係の仕事はキミの家でさせてもらうことにした。

これ以上、生徒会にあらぬ疑いをかけられては困るからな。」

副「あらぬ疑いではありませんが……。

まあ、こちらのお部屋ですというのは、
いい案だと思います。

あなたも、ありがとう。お部屋、貸してくれて。」

書「結果として、自分の部屋に女子〰人、

連れ込むことになったわけだしねえ。

よかったね、ハーレムっぽくて♡

ふふふ……♡」

会「ふむ、ハーレムか……♡♡

なるほど♡

では、今日はハーレムプレイとしゃれ込むでしょうか♡

私たちω人、同時にいちゃこらしてみようじゃないか……♡」

副「ふふ、面白そうですね♡

テストの時以来ですものね、ω人いっしょに、

彼とするのは……♡」

書「私は……なんかまだ、恥ずかしいし……

「人のほうがいいんだけど……。

まあ、ω人がするっていうんなら、私も……♡」

会「それでは、みんな、一斉に……♡

そら♡」

副「はあい♡」

書「ほうら♡」

会「どうだ♡ 私たちのおっぱい、

横並べ……♡」

副「♡人とも、ずっしり重たい、

むちむちおっぱいの持ち主ですからね……♡」

書「キミの頭ぐらい大きいデカ乳、

堪能しちゃっていいよ……♡」

会「さあ、いいんだぞ♡

このおっぱい、キミの好きにしても♡

触るか、揉むか、吸うか……♡

おチンポ押し付けるか？ ふふ……♡」

副「あなたの好きにしていいますよ……♡

おもちゃにしたり、たっぷり甘えたり……♡

どうしたいですか……？」

書「ふふ、ずっとガン見しっぱなし……♡

横並びおっぱい、そんなに興奮する？

おっぱい星人め……♡」

会「早くしろ……♡

そんなにじっと見られていたら、

私たちも恥ずかしい——んうっ♡

あっ、あああ……♡

指っ、沈んで……♡」

副「んっあんっ♡

おっぱい、ぱくんって……♡

あは、ちゅうちゅう吸われてる……♡」

書「んっく……♡ 私のも、強くもみもみって……♡

～人のおっぱい揉みながら、」人をちゅうちゅう……♡

贅沢だなあ……♡」

会「ははっ♡

鼻息が荒くなってるの、聞こえてくるぞ♡

たっぷり興奮してくれているようだ……♡

んっう……♡

指の力も、どんどん強く……♡」

副「ああ、かわいいです……♡

必死におっぱい、ちゅうちゅうちゅぱちゅぱ……♡

ママになった気分です……♡

ふふふ、いいこ、いいこお……♡」

書「あつ、くつ、はっああ……♡

力、強すぎ……♡

こんなの、痕残っちゃうって……♡

おっぱいに、キミの手の形の痣……♡

キミの手形でマーキングされちゃう……♡

ふっ、んっ、はっああ……♡

んっひっ!?

やつ、ああっ♡ 今度は私のっ♡

ちゅっちゅっちゅうってえ……♡「

会」「ははっ♡ 吸い比べか？

やるじゃないか♡

んっうう……♡ まさしくハーレムプレイだな……♡「

副「はあん……♡

乳首いっぱい舐めてもらったおっぱい……♡

揉み込まれるのも、気持ちいいです……♡

んっ、はっ、んっああん……♡「

書「舌の動き、えぐ……♡

全然赤ちゃんっぽくないし……♡

っううん……♡

乳首、感じちゃう……♡

あっ、うっ、あっああ……っ♡

んひ……っ♡「

会「んっくうっ♡

来たか……っ♡ よしよし……♡

いいぞ……♡ 私のおっぱいも、

たっぷり吸って……♡

んっうっ、はぁぁぁ……♡

いっぱい舐めて、味わってくれ……♡

んっぁ……♡」

副「ハーレムおっぱい、揉み比べ、舐め比べ……♡

メスに囲まれたオスの欲望、

ぜーんぶ叶えて、幸せそう……♡」

書「デカ乳、両手とお口で味わって、

興奮やバそうだね……♡

チンポ、ズボンの中ではんっぱんになってるよ……♡

ファスナー壊れちゃうんじゃない？ それ……♡

んっは……♡」

会「んっくう……♡

ふう、はぁ……♡

なんだ、もうおしまいか？

んう？ 何？ もっと真ん中に寄れ？

おいおい、何をする気だ？」

副「ふふ……♡

みんなのおっぱい、真ん中に集めたってことはぁ……♡」

書「キミ、もしかしてだけど……♡

あっ♡ んっくう♡

これっ、やっぱりっ♡

会「んっくうあぁっ♡

副「あっはぁん……♡

書「んっいいん……♡

会「ω人分、同時に乳首っ、ちゅうちゅうっ♡

ぺろぺろ……♡ うっああ……♡

副「3つの乳首、一斉に、べろべろってえ……♡

んっうう……♡

すっすっ、ます……♡

書「あっ、くううっ♡

このっ、ホントにおっぱい星人なんだから……♡

っああっ、これ、すごい……♡

べロ、いっぱい動かしすぎ……♡

会「ふうああっ♡ んっひいいん……♡

副「んううああっあああっああ……♡

書「うっあっああ♡ んううああっ♡

会「んっはあああ……♡

はっ、はあっ、はっああ……♡

くくく……♡

まったく、好きにしていゐるとは言ったが、

ここまで好きにされるとは……♡

副「おかげで私たちも……♡

きっと、あなたと同じぐらい、

興奮してきちゃいましたよ……♡」

書「うん……♡

おまんこ、熱くなっちゃって……♡

我慢できない……♡

おチンポ、貸して……♡

今すぐハメないと、我慢できない……♡」

会「ん？　なんだ、キミからか？

まあいいだろう♡

では、私たちは、ここだな……♡

ここでキミの、おチンポ気持ちよすぎでとろけた顔……♡
堪能させてもらおう……♡」

副「書記ちゃんのおまんこ……♡

いっぱい感じちゃってくださいね……♡

また、このおっきいおチンポから、たっぷり……♡

ザーメンびゅーびゅー、しちゃいましょうねえ……♡」

書「行くよ……♡

騎乗位えっち……♡ 初めてだけど……♡

はあ、はあ……♡

んうあ……♡

あっあっあああ……♡

んっうううっ、っくううん……♡

はっ、ふっ、はっ、あっあああ……♡

ああ、おチンポ……♡

下から突き刺さるの、すじい……♡

気持ちいい……っ♡

んっひい♡ ふううううう♡ くうぁっ♡ くううう……っ♡
んいひいひい……っ♡ んっひっ♡」

会「ふふ……♡

彼女もようやく、素直にキミのおチンポ、

楽しめるようになったようだな……♡

テストの時なんか、明らかにセックスしたかったろうに、

変に恥ずかしがって、おチンポ拒否していたからな……♡」

副「仕方ないですよ♡

普通、人前でえっちなことするなんて、

恥ずかしいものなんですから♡

ですけど……♡

それも忘れられるぐらい、あなたとのセックス、

気持ちいいみたいです……♡

さすが、私たちのおチンポ係です……♡

ふふふ……♡」

会「そうだな♡

では、私たちも見ているだけでなく……♡

キミのおチンポ、たくさん感じさせてやろう……♡」♡

副「はい♡

それでは、会長♡

ご一緒に……♡

彼のお耳を……♡ あゝん……♡」

書「んううあああ……♡

おチンポっ、びくびくって、中あ……♡

んっううう……♡

騎乗位えっち、すごい、奥に、来る……♡

うっあああ……♡

子宮っ、押し上げられてっ♡

うつ、くつ、はっあああ……♡

うあああ……♡ んっいああ♡ あっああっ、うううう……♡

ういひひひ……♡ いっ♡ んっい……♡

っああ……♡ お尻♡ 止まんない……♡

たんたん、たんたん♡

いやらしく、叩きつけちゃって……♡

うううう……♡

会「耳舐めだけじゃあないぞ……♡

いっしょにここもいじってやろう……♡

キミの乳首……♡ かりかりかり……♡

副「乳首をぎゅって、指で押し潰しながら……♡

ぐりぐり、ぐりぐり……♡

いいこ、いいこって……♡ たくさんくくに♡

してあげますねえ……♡

会「ほら、ほら……♡

どんどん乳首硬くなる……♡

さっきのお返しだ……♡

副「乳首で感じちゃいますねえ……♡

乳首気持ちよくなって、おチンポまでどんどん、

膨らんでえ……♡」

書「はっあああ……っ♡ 売っくうああっ♡ はっあああ……♡

んうういいいい♡ んひいん♡ はっああ……♡

んっいいいい……♡

あっ、うううっ、すっ♡

だっめっ♡ おチンポっ、おっきすぎっ♡

うううああああ……♡

おまんこ拡がっちゃう……♡

キミに拡げられたおまんこっ、また、もっとお……♡

うううあああ……♡

キミのおチンポの形、覚えちゃう……♡

ううっ、くあああ……♡

ううううああっ♡ ううううああ……っ♡

んううあっ♡ くうっう♡

ふっ、ぐっ、うううっ、あっああああ……っ♡」

会「ほら……♡

耳舐めも気持ちいいだろう……♡

ハーレムえっち……♡

どこもかしこもとろかされて、

たまんないなあ……♡」

副「頭も撫で撫でてあげます……♡

よしよし、よしよし……♡

おチンポ気持ちいいですね……♡

おまんこハーレムえっち、

最高ですねえ……♡

タマタマ熱くなっちゃって、おチンポまで、

昇って来ちゃいますねえ……♡」

会「出るのか？ 出すのか？

いいぞ♡ 見ててやる……♡

キミがまた、どっぴりびゅーびゅー♡

濃厚ザーメン、おまんこ中出しするところ……♡

すっかり中出しの快感覚えてしまった、

ヤリチンおチンポのかっこいいところ……♡

見ていてやるぞ……♡」

副「たくさんたくさん、種付けしちゃおうね……♡

自分のおチンポに向かって、一生懸命、

おまんこ叩き下ろしてくれる、

優しい、やらしい女の子に……♡

ご褒美中出し、してあげようねえ……♡

またかっこよく、どっぴゅんしようねえ……♡」

書「ううあっあああ……♡

突き上げっ、だっめっ♡

おチンポっ♡ 奥っ♡ くっついてるっ♡

子宮っ、揺られてるっ♡

うううっう、くうっああああ……♡

っいいいいっ♡ ああああ……っ♡

だめだめだめっ♡

それすごっ♡ すごすぎっ♡

おチンポやばすぎるっ♡

イググ♡ イググっ♡

おまんこイググっ♡

騎乗位交尾っ♡ 子宮アクメ来るっ♡

ううあああああ……♡

んううああっ♡ あっあああ……♡

んっいいっ♡ うっくうっ♡ んうううああ……っ♡

んっいいいい……♡

イグイグイグっ♡ イググうう……♡」

会「出せ、出せ……♡

ザーメン中出し♡

チンポ汁、ぶっぴゅう……♡」

副「たっぷりとぷとぷ♡

ぴゅっぴゅしましようねえ……♡

おチンポどうぞお……♡」

会「イケ、イケ、イケ、イケ……♡」

副「出して、出して、出してえ……♡」

書「っあっあっああああ……♡

イッグうううっうう……♡

（絶頂）んううううあっああああ……♡

あっああっ、んっうううっ♡

くっ、あっ、はっあっあああ……♡

あっ、いつ、熱いっ♡ 熱すぎ……♡

いっぱい、出てきて……♡

ううううう……♡ 子宮っ、焼ける……♡

この熱……♡ 忘れられなくなっちゃう……♡

っあああ……♡

はっ、はっ、はっ、くうっくう……♡

んっくうくう……♡

ふっ、はっ、はっ、うっぁ……♡

はぁ、はぁ……」

会「ふふふ……♡

えらいぞぉ……♡

またたっぷりと、中出しできて……♡

もういつでも、本番子作りできそうだな……♡」

副「ふふ……♡ そうですね……♡

なら、その本番前に、もう少し……♡

今度は私のおまんこで、子作り練習、

中出しセックス……♡

しましうか……♡

私を、孕ませ相手だと思って……♡

そう、お嫁さんとも思っていていいですから……♡

上からいっぱい、突いてください……♡

っあん……♡

はい、そうです……♡

そのまま、おまんこに、おチンポ入れて……♡

子作りらぶらぶ正常位セックス……♡

しましうねえ……♡

んっう……♡

っあああん……♡

んううあっあああっ♡ んいっあっ♡ あああ……っ♡

んううああっ♡ うっくううあっ♡ はっあああん……♡

あっはあ……♡」

書「ふう、ふう……♡

私に中出しキメといで、

息つく間もなく、副会長と子作り練習って……♡

どんだけ絶倫なのかな、キミ……♡

でも……連続ハメハメできるキミ……♡

すっごくかっこいいよ……♡

おチンポ優秀すぎて、

好きになっちゃいそう……♡」

会「ああ……♡ 本当にキミはすばらしい……♡

女として、キミほどの男は、

今までに見たことがない……♡

集めたデータも優秀だったが……♡

やはりキミの真価は、体験してこそわかった……♡

キミのおチンポは、すばらしい……♡

最高のオスチンポだぞ……♡」

副「ふふふ……♡

～人に褒めてもらえて、おチンポうれしそう……♡

びくびく震えて、私の中……♡ ああんっ♡

中、いっぱい、掻き回してくる……♡

っはぁ、はぁ……♡

よしよし、よしよし……♡

気持ちいいですよ……♡

子作りおチンポ……♡

私に赤ちゃん産ませようって、一番奥に、

おチンポずぶずぶう……♡

っぁぁぁ……♡

いっぱい抱きしめてあげたくなっちゃいます……♡

はぁ、はぁ、っぁんっ、んっうん……♡

よしよし、よしよし……♡

子作り上手♡ 孕ませ上手う……♡

んっはぁ……♡」

書「おチンポ上手……♡ セックス上手……♡

ほら、もっと副会長のおまんこ、

幸せにしてあげよ……♡

お嫁さん孕ませおチンポ、もっとかっこよく、

大きく勃起させて……♡」

会「また手伝ってやろう……♡

キミがしっかり、副会長を孕ませられるように……♡

ただでさえ立派なおチンポを、さらに、もっと、

強い孕ませチンポにしてやろう……♡」

書「ほら、お耳いっぱい舐められて、

おチンポ勃起……♡

またかっこよくなっちゃう……♡

発情したメスをいっぱい喜ばせる、

最強おチンポ……♡」

会「もっと見せてくれ……♡

キミの勇ましいおチンポピストン……♡

横で見ているだけでも子宮が疼いて、

こっちも孕ませてくれって、

おねだりしたくなってしまうような、

かっこいい子作り交尾……♡」

副「んっううん……♡

はぁ、はっぁ♡ あはぁ……♡

腰振り早くなりましたね……♡

いっぱい興奮しちゃったんですね……♡

はい、はい……♡ 私も、っぁんっ♡

私も、んっううん……♡

おまんこすっごく、気持ちよくってえ……♡

あっぁあんっ♡ ううぁぁっ♡ ふんいいい……♡

んっいいっ♡ いいっ♡ んっひいっ♡ はっぁぁぁ……♡

んっううう……♡

子宮に精液、たっぷり注いで欲しくって、

ぞくぞく止まりません……♡

子宮がずっと、おチンポちゅっちゅ♡

吸い付いて……♡

早く孕ませて♡ 種付けしてえって♡

甘えちゃってるの、わかりますよね……♡

だから、いいんですよ……♡

孕ませぴゅっぴゅ……♡ 子作り射精い……♡

私の子宮に、優秀おチンポ遺伝子、

植え付けちゃいましょうねえ……♡」

書「ほうら……♡

孕ませ許可が出たよ……♡

いいよ……♡ 出しちゃえ……♡

あつつあつの、精子たっぷりザーメン……♡

キンタマで熟成させた、

メスを絶対孕ませる、ほかほかチンポ汁……♡

赤ちゃん作る……♡

子作りしちやお……♡

中に出して♡ いっぱい出して……♡」

会「さあ、さあ、子作り腰振りピストン、

もっと深く……♡

そっだ、子宮におチンポぐりぐり押し付けて、

入り口にぴったり密着……♡

精子一滴だってこぼさないように……♡

いいぞ、そのまま……♡

そのまま孕ませろ……♡

妊娠したがり女子のおまんこに、

キミの赤ちゃん、産ませてやれ……♡」

書「孕ませて♡ 孕ませて♡ 孕ませて♡ 孕ませて……♡」

会「孕ませろ♡ 孕ませろ♡ 孕ませろ♡ 孕ませろ……♡」

副「はい、はい、はあい……♡

来てください……♡

おチンポいっぱい……♡ 中出して……♡

んっううん……♡

私も、っあんっ♡

イキますから……♡

おまんこたっぷり幸せにしてもらって……♡

あなたの子種汁♡ 孕ませおチンポ汁♡

いっぱい受け止めて、イキますから……♡

んっうんっ、はっああ……♡

イク、イック、んっうん、イックう……♡

あっ、んっ、やあ、やっああん……♡

出して、出して、出して、出してえ……♡

あっ、あっ、あっ、あっ、あっああっ♡

んっううん……♡

（絶頂）んっあっあああん……♡

あっああんっ♡ あんっ、んうあっ♡

はっああああ……♡

やっ♡ ああんっ♡

おチンポ、まだ動いて……♡

んっうう……♡

精液奥に、押し込んでやるってえ……♡

あっ♡ あっ♡ あっああん……♡」

書「あは……♡

孕ませ欲求、すっご……♡

孕め、孕めって、おチンポ抑えらんないんだ……♡」

会「オレの子を産め、と……♡

それだけの意志を見せつけられたら、

メスとして、逆らえなくなってしまうそうだ……♡

ふふふ……♡」

副「んっ、んっうんっ♡

あっ、んっ、はっああん……♡

はぁ、はぁ、はぁ……♡

はぁい……♡ よくできました……♡

いいこ、いいこ……♡

すっごくかっこよかったですよ……♡

私……♡ これが練習だったこと、忘れて……♡

本当に、あなたの赤ちゃん、

産んであげたくなっちゃってました……♡

ふふふふふ……♡」

書「ホント、すごいよ……♡

キミのおチンポ……♡

最高すぎ……♡」

会「私たち生徒会はもう、

キミがいなくてはならない存在になってしまったな……♡」

副「ですから、おチンポ係のお仕事……♡

これからも、どうか……♡

がんばってくださいね……♡

そうしたらいつか、本当に……♡

あなたの子供を……♡ なぁんて……♡

ふふふふふ……♡」

● 8 会長&副会長と連続お尻えっち♡ アナルにハメハメ止まらない♡

会「さあ、今日も楽しませてもらうぞ……♡

この部屋でなら気兼ねなく、

思いっきり、スケベなこともできることだしな……♡」

副「今日は書記ちゃんがお家の用事でいませんから……♡

その分私たち二人と濃密に……♡

えっちしましょうねえ……♡」

会「そら……♡

またおっぱい、欲しいんだろ？

ダブルエカップおっぱい……♡

またいやらしく、吸っていいぞ……♡

副「赤ちゃんみたいにちゅうちゅうしましうね……♡

その間、私たちが、勃起おチンポ……♡

たくさん撫で撫で、してあげまちゅからねえ……♡

ほうら……♡ しこしこ、しこしこお……♡

おちんちん、いいこいいこお……♡」

会「んっはぁ……♡

ふふふ……♡

おっぱいおいちいでちゅかぁ……♡

よしよし、よしよおし……♡

おっぱいちゅうちゅうお上手でちゅねえ……♡

んっう……♡

乳首加えて、ちゅっぱちゅぱぁ……♡

好き sadece 吸っていいでちゅからねえ……♡」

副「んっ、あんっ♡ やっあん♡

乳首ねろねろ♡ 舌がいっぱい絡みついて……♡

おっぱい大ちゅきなんでちゅねえ……♡

よしよし、よしよおし……♡

おチンポどんどん硬くなってきてまちゅよお……♡

おっぱいごくごく飲みながら、

おチンポしこしこお……♡

気持ちいいでちゅねえ……♡」

会「おっぱいおいちいでちゅねえ……♡

おチンポびんびんになっちゃいまちゅねえ……♡

キンタマまではんっぱんになるぐらい、

エカップおっぱいちゅぱちゅぱするの、

いい気持ちなんでちゅねえ……♡

ずっしりむちむちクソデカおっぱい……♡

交互にちゅっちゅ♡ いっしょにちゅぱちゅぱ♡

っああん……♡

ふふふ……♡ また今日も、

おっぱいキミに好き放題……♡

いつの間にか、私たちもおっぱいは、

キミのものになっちゃってまちゅねえ……♡」

副「すごいでちゅねえ……♡

こんな大きなおっぱいが、いつの間にやら、

あなたのもの……♡

私たちもそれでいい、それがいいって、

思っちゃってまちゅよお……♡

このおっぱいは、あなたのもの……♡

あなただけのドスケベおっぱい……♡

揉み揉みちゅっちゅ♡ ごくごくちゅぱちゅぱ♡

おチンポ大きく勃起させて、熱々精液ぴゅっぴゅっぴゅ♡

おチンポ気持ちよくなるための、

性処理用のおもちやでちゅからねえ……♡」

会「だからほら……♡

もっとたくさん、ちゅうちゅうちゅぱちゅぱ……♡

おっぱい飲む飲むしまちようねえ……♡

副「おチンポたくさん膨らませてえ……♡

ほかほかおチンポミルク♡

ぴゅっぴゅしまあちようねえ……♡

会「はあい、はあい♡

おチンポいい♡ おチンポいい♡お……♡

副「我慢汁だらだらのおチンポさん♡

かっこいいでちゅよお……♡

会「出ちやいそうでちゅかあ……♡

いいでちゅよお……♡

びゅーびゅーしまちようねえ……♡

副「おチンポ気持ちよくお漏らししまちようねえ……♡

おっぱいちゅうちゅ吸いながら、

どばどば出しちゃいまちようねえ……♡」

会「はぁ♡」

副「はぁ♡」

会「ほうら♡ ほうら♡」

副「出して、出して♡ 出して、出してえ……♡」

会「おチンポどうぞお……♡」

さん、はぁい……♡」

副「びゅっびゅっびゅっびゅー……♡」

どくどくびゅっびゅう……♡

おチンポびゅっびゅ、お上手でちゅよお……♡」

会「んっうんぁ……♡」

おチンポぴゅっぴゅしながら、

おっぱいちゅっぱちゅぱ……♡

お上手でちゅねえ……♡

んふふふ……♡」

副「ふふ……♡

いっぱい出たのに、まだおチンポ、

ガッチガチい……♡

今度は私たちが、

おまんこ興奮してきちゃいました……♡」

会「なら、次は私の番だ……♡

おチンポいっぱい、ぱんぱんばちゅばちゅ♡

しまちようね……じゃない。

してもらうからな……♡

さてさて……♡ とは言ったものの、

今日はこういう形するべきか……♡

……ん？

どうした、キミ——うわっ！？

あっ、うううっ！？

っはっあ、はあ……♡

今日は、この格好でだと……？

し、しかしこれは……♡

まるで子供に用足しをさせるような、背面駆弁……♡

さすがの私も、これは恥ずかしいぞ……♡

んっう！？

しかも、そこは……っ♡

し、尻穴に、おチンポ……っ♡

うううあっあああ……♡

あっ、くうっ、っああああ……♡

またっ、ケツ穴交尾……っ♡

キミのおチンポ、あつつう……♡

んううあああ……っ♡ うっああっ♡ ふううっ♡

んうううっううっ……っ♡ うっあああっ♡ んっひい♡

くうっいいいい……♡」

副「ふふ……♡ お尻えっち……♡

いいですねえ……♡

おまんこもお尻も♡ すっかりあなたの

おチンポの味、覚えちゃって……♡

では私も、久々に……♡

あなたのお尻のお味……♡

味わっちゃいますね……♡

あゝ……♡

っはあ……♡

ふふふ……♡」

会「ううううあ……っ♡

ああっあああ……♡ ああっあああっ♡ んうあああ……♡

はっ、はぁあっ♡ こんなっ、格好でっ♡

くうっくうっ……♡

さっきの赤ちゃんプレイのお返しか……っ♡

くうううぁぁぁ……♡

ううっ、っぁぁぁあっ♡

だがっ、気持ちいい……♡

恥ずかしいがっ、それがまた……♡

身体っ♡ ぞくぞくっ♡

気持ちよくなっていくう……♡

ううぁぁぁぁぁ……♡

んっ……んぁ、あん、んっ、ぁ、ぁぁ、ううっ♡

うん、あん、あんっ、ぁ、あっ、うん、んっ、んっく、んっふ……♡

んっくううう……♡」

副「あら♡

赤ちゃんプレイ、恥ずかしかったんですか？

私はとっても楽しかったのに♡

あなたのこと、赤ちゃんみたいに甘やかすの、

とっても面白くって、かわいくって……♡

そんなこと言うなんて、がっかりです♡

意地悪しちゃいますよ……♡

えいつ♡

あはぁ……♡ お尻、ぺんぺんですっ♡

えいえいつ♡

ふふふ……♡」

会「あはぁっ……ああんっ、あんっ、いや、やん♡

んあう、あう、あん、あんっ、んあっ、んあうっ……♡

へっええあぁあぁあ……♡

ケツ穴ずんずんっ♡

おチンポっ、ハメられてえ……♡

こんなのっ、イック♡ ケツ穴アクメっ♡

すぐイグっ♡ っあっあぁあ……♡

アナルアクメっ♡

強烈なのっ♡

いっぱい来ちゃうっ♡ うううっ♡

あっあっああああ……♡」

副「お尻の穴、きゅうきゅう締まって……♡

あなたもイキそうなんですか？ ふふ……っ♡

えいっ♡

どうぞ、イッちゃってください♡

私との赤ちゃんプレイを楽しめないなんていう、

ひどい男の子は……っ♡

私にお尻ほじられて、お尻ぺんぺんされながら、

イッちゃえばいいんです……♡

えいえいっ♡

んふふ……♡」

会「んあっ、あん、んくっ、んうっ……♡

んあ、ああん、あっ、あんっ、んう、んあ、んあっ♡

んっううあっあああ……♡

いっぎゅ♡ いっぎゅうつ♡

イグイグイグイグっ♡

ううあっあああ……♡

尻穴ずぼされてイグっ♡

恥ずかしい格好でっ♡

ケツ穴レイプされてイグう♡

あっ、あっ、あっ、あっ……♡

んっ、あん、んあ、あっく、んっく、いや♡

っくううっあっあああ……♡

いっぎゅ♡ いっぎゅ♡

うううううっ、へえあっあああ……♡

んううああっ、あっああああっ♡

んっいいいっ、んうっくううううああ……♡

んっういいいい……♡

会「(絶頂) ううああっああっああああ……♡

お尻っ、あっついっ♡

精液どくどくうってえ……♡

熱いの流し込まれてるうう……♡

んうううっ、くっいいい……♡

ううあっつああああ……♡

うううあっ、んっいい……♡

はっ、ああああっ、アナル犯されて、

おまんこ潮吹き……♡

はっあ、あっあああ……♡

ほ、本当に、抱えられておしっこ、したみたいに……♡

なってしまったじゃないかあ……♡

はあ、はあ、ああああ……♡

んっああ……♡ つふう、つふう、ふう……♡
「♡

副「ふふ、さすがのおチンポですね♡

もう会長のお尻は、おまんこ以上の性感帯に……え？

え？ え？ 私もって……♡

まさか……♡ やああ♡

っああ……♡

私も駅弁で……♡

んっう……♡ お、お尻い……♡

っああっあああ……♡

お尻、ずっぷりっ、くううっうん……♡

いあ、ん、んうっ、んあ、んあう……♡

んっ、ああ、ああんっ、あんっ、いや、やん♡

ふっ、ふっ、ふっ、ふううう……♡」

会「おいおい、キミい……♡

どうして副会長には、普通の駅弁セックスなんだ……？

こちらには恥ずかしい格好させておいて……♡

ずるいじゃないか……♡

許さんぞお……♡

私もキミのお尻ぺんぺんして、いっぱい感じさせてやる……♡

もちろん、尻穴もだぁ……♡

ふふふふ……♡」

副「あっ、やっ♡

お尻っ♡ 気持ちいい……♡

前にした時よりっ♡ 私のお尻もっ♡

おチンポっ、好きになっちゃってますう……♡

あっ、あぁっ、あっ、はぁっ、あんっ、あん、あんっ、やんっ、ふぁっ♡

あっ、あっい、んぁ、あぁん、あっ、あんっ♡

んっううっ♡ お尻の穴ぁ……♡

おまんこみたいにつ、んっぁぁ……♡

おチンポぎゅうぎゅう、締め付けて……♡

うううっ、んっくうっ♡

はっ、あっ、うっぁぁぁ……♡

あっ、あっ♡ 好き好き♡

お尻セックスっ♡ 気持ちいいですっ♡

ずぼずぼぐちゅぐちゅっ♡

頭の中までっ♡ 掻き回されてえっ♡」

会「あはぁ……♡

まったく、キミは……♡

そのおチンポで私たちのこと、支配するつもりか？

生徒会を裏から支配する、

闇の権力者にでも鳴ろうというのか……♡

そんなことさせないからなぁ……♡

生徒会は私たちのものだ……♡

お前みたいな悪者に負けるものか……♡

ふふふ……♡」

副「うぁっぁぁぁぁ……♡

ごめんなさい、会長……♡

私はっ、負けちゃいそうです……♡

このおチンポっ♡ お尻交尾っ♡

気持ちよすぎてえっ♡ あはあ……♡

快樂墮ちしてしまいそうです……♡

んううん……♡

んあう、あう、あん、あんっ、んあっ、んあうっ……♡

うっく、うぐ、うあ、うあん、あん、はあっ、あはっ、あはあっ……♡

おチンポ好きっ♡ おチンポ好きっ♡

おまんこでもお尻でもっ♡

いっぱい気持ちよくなっちゃいますう……♡

んう、んあ、んあっ、あっ、あっ、あっ……♡

ん、っく、ん、んふう、んあ、あう……♡

っあああ……♡ だって、だって♡

ほらあ♡ っあああ……♡

アナルアクメ、来ちゃいそうで……♡

んっうううう……♡」

会「何い……♡

ダメだぞ♡ 負けるな♡

悪いおチンポなんか負けるんじゃない♡

いくら彼のおチンポが♡

ぶっとくて、カリデカで、硬くて熱くて♡

突っ込まれたらあっという間に大好きになってしまう、

優秀おチンポでもお……♡

耐えてみせろ♡ 副会長……♡

キミもダメだぞ♡

ほかほか熱々おチンポミルク♡

尻穴に注がれたら、アナルアクメ止まらなくなるような、

濃厚ザー汁……♡

出すな♡ 出すな♡ おチンポイクなあ……♡」

副「あっ♡ やっ♡ あんっ、あああんっ♡

だっめ♡ イック♡

イキますっ♡ 堕ちますっ♡

おチンポに負けますっ♡ っあああん……♡

堕ちるからっ♡ 好きだからっ♡

おチンポ大好きだから♡

出してえ……♡

アクメアナルにザーメン注いでえ……♡

好き♡ 好き♡ 好き♡ 好き♡

んっいいい……♡

あっ、んっ、やっ、あっあっああ……♡

んううっあっああ……♡」

副「(絶頂) んうっはあああっああ……♡

んううああっ、んっふううん……♡

んっ、くっ、あっ、あっああ……♡

どろどろ、どくどく……♡

お尻たっぷりい……♡

びゅくびゅくうってえ……♡

はあ、はあ、はっああ……♡」

会「ふふふふふ……♡

射精中の、キミのお尻……♡

ぐうっと力が入っていて、かわいらしいじゃないか……♡

キンタマもぶるぶる、ザーメン押し出しているのが見える……♡

いい眺めだなあ……♡ ふふふ……♡」

副「んっうん……♡

はあ、はあ……♡

お尻セックス……♡ 気持ちいいです……♡

いいえ……♡

キミとなら、どこでだって……♡」

会「ああ……♡

キミのおチンポなら、お尻だろうと、おまんこだろうと……♡

お口でも、おっぱいでも、手でも足でも……♡

気持ちいいんだ……♡

本当に……♡ 最高だよ♡

キミのおチンポは……♡

ふふふふふ……♡」

● 9 副会長&書紀と甘々えっち♡ お口の中まで幸せたっぷり♡

副「はあい♡ おっぱいどうぞお……♡

んっうん……♡

ふふふ……♡

今日もたくさん、おっぱいちゅうちゅう……♡

おっぱい吸うの、好きなんですねえ……♡」

書「おっぱいちゅうちゅう、昨日もしたんだって？

ここんとこ毎日してるってことでしょ？

やっぱキミ、おっぱい星人なんだ……♡

っあんっ♡

んっ、っふう……♡

交互にちゅうちゅう、おっぱい吸い比べなんてさ……♡」

副「男の子なら当然ですよね……♡

目の前に大きなおっぱいがあつたら、

おチンポびんびんになっちゃうのは、

当たり前……♡

だから私たちがこうやってえ……♡

おチンポよしよし……♡

いっぱいしこしこしてあげるんですよ……♡

ふふふ……♡

っあん……♡

はあい、はあい……♡

好きな方のおっぱい吸いながら……♡

いっぱいおチンポ、気持ちよくなりましょうねえ……♡」

書「はあ……♡

おチンポ、すごい硬い……♡

毎日抜いてもらってるのにこれって、

すごい性欲……♡

まあ、私たちも、ほとんど毎日、

キミとヤッてるってわけだから……♡

あんまり人のこと、言えないけど……♡」

副「そうですね……♡

いくら生徒会のお仕事が忙しいからって……♡

毎日えっちしちゃうのは、たぶん……♡

普通ではないと思うんですが……♡

でも、それぐらいあなたのおチンポが魅力的なんです……♡

私なんて毎日、あなたのおチンポのことばかり、

考えてしまっ……♡

書記ちゃんもですよ……♡」

書「え……？

ま、まあ、その……♡

私もいろいろ、ストレス溜まっちゃってるし……♡

キミとえっちすれば、それ、解消できるから……♡

そういう意味なら、そうですね……♡

副「ふふ……♡

それだけじゃあないですよ♡

書記ちゃんは最近、あなたのことばかり、

お話するようになって……♡

もしかして、おチンポ係ってこと以上に、

あなたのこと、何かしら思ってるんじゃないかって……♡

会長とも話してるんですよ♡

書「な……っ♡

そ、そんなことないですよ……♡

変なこと言わないでください、副会長……♡

んっあ……♡

ちよっ、キミ……っ♡ 急におっぱい、

ちゅうちゅう、強く……♡

ううっああ……♡

吸い付き、すご……♡

うっ、あっ、くううん……♡」

副「ふふふ……♡

おチンポもこんなに硬く……♡

うれしいんですね……♡ 書記ちゃんに、

いっぱい想ってもらって……♡

私や会長よりも大きい、一カップおっぱいでもんね……♡

おチンポ興奮しちゃいますよねえ……♡」

書「だからそれは、背が低いからで……♡

実際の大きさは、そこまで違いは……♡

んううん……♡

でも、ホントにおチンポ、おっきくなって……♡

我慢汁でべっとべと……♡

はあ、っふう……♡

興奮、してくれてるんだ……♡」

副「はい……♡

いいですよ……♡ なら、そのまま……♡

書記ちゃんのおっぱいちゅうちゅう吸いながら、

おチンポどくどくしちゃいましょうか♡

濃いたくさん、出しちゃいましょうね……♡」

書「んっう……♡

ダメ、そんなこと……♡

ちゃんと副会長のも、吸ってあげないと……♡

せっかくのダブルおっぱい……♡

いっしょに味わわないとでしょ……♡

ね……?」

副「いえいえ、私は構いませーやんっ♡

いっしょに、ちゅうちゅう……♡

そんなことしてくれなくても、大丈夫なのに……♡

んっうん……♡

ふふ、でも……♡ やっぱりうれしいです……♡

ありがとうございます……♡」

書「いいよ、ほら……♡

おっぱいちゅうちゅう吸いながら、

おチンポ射精して……♡

びゅるびゅる、どっぴゅん……♡

たっぷり吐き出して……♡」

副「はい、はい……♡

出してください……♡

おチンポびゅるるう……♡」

書「出して、出して、出して、出してえ……♡」

副「びゅっ、びゅっ、びゅっ、びゅっ……♡」

書「どへどへ、へ、びゅるるう……♡

あは、すこし出てる……♡

おっぱいで興奮しすぎだって……♡

副「相変わらずすごい量……♡

毎日してるはずなのに……♡

ん……♡ やだ、私……♡

たっぷりのザーメン見たら、子宮がきゅんって……♡

中にたくさん、注いでほしくなっちゃいました……♡

いいですか？ 今日も、たっぷり……♡

おまんこに……♡

あ……っ♡

はぁあん……♡

ガチガチおチンポ、押し付けられて……♡

はい……♡ お願いします……♡

今日はあなたの思うまま……♡

おチンポの思うままに……♡

いっぱいおまんこ、犯してください……♡

んっう……♡

あっああああん……♡

おチンポ、硬い……♡ 毎日してるのに……♡

ずっと、元気なままあ……♡

ひあ、あ、んあっ、ああっ、ううあっ……♡

んあ、んう、あん、うん、あん、あんっ♡

んううううん……♡」

書「副会長にずっしりのしかかって、

種付けプレス……♡

えぐいことするね、キミ……♡

ずんずんずんずん、おチンポずっぷし……♡

気持ちよさそう……♡

キミも、副会長も……♡

いいよ、もっとして……♡

いっぱい気持ちよくなって……♡

私もほら……♡ 後ろから抱きしめて……♡

おっぱいぎゅううって押し付けながら……♡

はぁ……♡

耳舐めしてあげる……♡」

副「んっううんあ……♡

ん、んあ、はあ、あふ、ふあっ……♡

んっ、あっ、あう、んっ、んうっ、ひあ♡

くうっううん……♡

おチンポ、深いです……♡

一番奥につ、強く……っ♡

叩きつけられて……♡

種付けプレス……♡

男の子の重い体重っ♡ 子宮に全部っ♡

乗っかってえ……♡

うっ、くっ、あっ、はっあああ……♡

あっああっ、くうううう……♡

ああ、こんなセックスも出来るなんて……♡

あなたのことが、ますます魅力的に、

見えてきてしまいます……♡

ふふふ……♡」

書「ほら……♡

もっと奥、奥だよ……♡

子宮の深あいところまでもっと、

おチンポ押し込んで……♡

副会長の子宮、いっぱいいじめちゃえ……♡

キミもそろそろ、中出し慣れてきたでしょ……？

普通のおまんこ中出しじゃあ、

満足できなくなってきちゃった……♡

だったら、子宮いっぱい、いっぱいいじめて……♡

おチンポ大好きになるまでとろっとなに

ほぐしててから、いっぱいびゅーびゅー……♡

してみてよ……♡」

副「うあっあああ……っ♡

っああ、んあう、んっく、くあ……っ♡

はあっ、んんあ、っくあ……っ♡

んうっ、ああん、うん、あんっ、あっ、んあ、ああ……っ♡

すごいっ♡ すごいですっ♡

ぐりぐりっ♡ 子宮……♡

熱い亀頭でっ、ぐちゅぐちゅ、ぶちゅぶちゅっ♡

子宮っ♡ 自分のものにする気っ♡

満々のセックスう……♡ あっあああ……♡

すごっ♡ すごいっ♡ んうああっ♡

くうっううん……♡

はっ、くっ、んううううっ、くううう……♡

あっ、あっ♡ ダメですっ♡

これじゃあっ、私まで……♡ っあああ……♡

私まであなたのことっ♡ 好きになってしまいますっ♡

んっあっ、あっあああ……♡

あっ、んっ、き、キス、ですか……♡

い、今、キスされたら……♡ ううう……♡

わかりました……♡ キスを……♡

い、いえ、キスではなく……♡

涎……♡ □移ししあうように、しましう……♡

お互い興奮するような、ドスケベキス……♡

それなら、まだ……♡

んうえあ……♡

はっあああ……♡

はっ、はっ、んっあ……♡」

書「ふふ……♡ 陥落寸前って感じだね……♡

いいよ、ほら……♡

副会長のこと……♡ キミに惚れさせちゃえ……♡

私なんかより、副会長の方が魅力的でしょ……？

優しくて、おっぱいも大きいお姉さん……♡

自分のものにしちゃえば、毎日甘え放題……♡

おチンポ係だけじゃない、プライベートおまんこ……♡

本気のらぶらぶ交尾……♡

出来ちゃうよ……♡

したいよね……♡ べろちゅーたっぷり……♡

恋人セックス……♡

できるようにしちゃえ……♡

子宮にどぶどぶ、ザーメンぶちこんで……♡

副会長のこと、落としちゃえ……♡」

副「ひい、あはあ、ううあっ……♡

ああ、ん、んふ、んあ、んう、あ、っああ……♡

あ、ああっ、ん、んふう、んっ、んあ、あん、んう……っ♡

んあ、うつふ、うん、あは、あんっ、あんっ、あんっ♡

んっううああああ……♡

だめ、です……♡ これ以上はっ、本当に……♡

あっ、あっ、好きっ♡ 好きになっちゃいますっ♡

あなたのおチンポっ、好きなのにつ♡

おチンポ以外もっ、本当にいい……♡

ん、んあ、あん、ああ、あん、ああ、んっ♡

よだれまで、美味しく感じてえ……♡

んふ、んっふ、ああ、ああ、ああん、んあん……っ♡

んっ、んっ、んっ、んっうん……♡

くうううう……♡

イクっ♡ イックっ♡

おまんこイキますっ♡

子宮どちゅどちゅっ、ほじくりセックスっ♡

種付けプレスで子宮っ♡ ずんずん突かれてっ♡

イクっ♡ イックっ♡ 好きっ♡

おチンポ好きいっ♡ あっ、あっ、あっ、あっ……♡

好き好き好き好きっ♡ イック、イックううう……♡

あっ、うっ、あああっ、ううあああ……♡

イック、イック、イックううう……♡」

副「(絶頂) っああっああっあああ……♡

んううあああっ、はっあっあああ……♡

熱いっ♡ ですっ♡ ううううっ、くうっああ……♡

中出しザーメン……っ♡ びゆるびゆるう……♡

おチンポっ、一番奥にくっつけられて……♡

はっ、はっ、あっああ……♡

子宮、熱いです……♡ ううううう……♡

ふっ、くっ、ふっうう……♡

んっくうぁ……♡

ふっ、ふっ、ふううう……♡「♡」

書「ふふ……♡

すごかったね……♡

種付けピストン、かっこよかったよ……♡

これで、副会長もキミのこと……♡

あ、いや、別に私は、キミのことなんて……♡

おチンポ係として以上のことは、

思っていないけど……♡

え……？ あっ、きゃあっ！？

何っ、何……っ！？

この格好って……♡「♡」

副「ふふふ……♡ お得意の駅弁セックス♡

しちゃうんですね……♡

女の子、軽々持ち上げて、男らしくずぼずぼはんぱん……♡

いっぱい感じさせてあげましょうね……♡

私も、さっきの書記ちゃんみたいに……♡

背中におっぱい押し付けながら、お手伝い……♡

してあげますからね……♡」

書「え、駅弁セックスって……♡

あつ、待ってっ♡ おチンポ来ちゃうっ♡

んっうう……っ♡

ああっああっああ……♡

んあっ、あんっ、あっ、んあ、ああんっ♡

ああ、んっ、うん、あんっ、あ、あっ、あんっ♡

んううっああああ……♡

すごっ、いっ♡ どちゅどちゅっ、突き上げっ♡

こんな格好でっ、セックスなんてえ……♡

ううつああああ……♡

は、恥ずかしいのに……っ♡

恥ずかしいけどっ、気持ちいい……♡

やんっ、ああ、うあんっ♡

あん、うん、あん、あんっ、ん、んあ、はあ、あふ、ふあっ……♡
「

副「さあ、私も……♡

あなたのお耳……♡

いっぱいペロペロしてあげますからね……♡

おチンポいっぱい興奮させて……♡

タマタマの中身、いっぱい濃くして……♡

私にたくさん中出ししてくれたのと同じぐらい、

どくどく、どぶどぶ……♡

書記ちゃんの子宮も、真っ白に、

汚してあげてくださいね……♡

ふふふ……♡
「

書「ああ、ん、んふ、んあ、んう、あ、っああ……♡

あ、ああっ、ん、んふう、んっ、んあ、あん、んう……っ♡

あっ、くっ、うううっ、あああ……♡

副会長に出したばかりなのにつ♡

こんなぶつといい♡ 硬い、おチンポ……♡

うううっ♡ 好きっ♡ 好きっ♡

違う、のに……♡

キミのこと、私は……♡

別につ、ああああ……♡

違うっ♡ 違うからっ♡ 違う、けどお……♡

好きいい……♡

おチンポっ、気持ちいい……♡

はっ、くっ、あっあああ……っ♡

へっ、はっ、キスっ♡

キスしてっ♡ べろちゅー……♡

いっぱい、キス……♡

最初にえっちした時にみたい♡

べろちゅー……♡

っあああ……♡

好きっ♡ 好きっ♡ これっ、すごいっ♡

んっううう……♡

んあ、んふう、うう、うあ、あう、んう、ん、んっく、くう……♡

んんんう……♡ んっああああ♡ んっううう♡

ううああっあああ……♡」

副「ふふ……♡

らぶらぶなキス……♡ すごいお上手……♡

ここから見ていたら、恋人同士のえっちにしか、

見えませんね……♡

ほら、いいですよ……♡

もっと好き好きセックス、してあげてください……♡

さっき書記ちゃんが、私にそうしろって言ったこと……♡

書記ちゃんにしてあげてください……♡

子宮いっぱい突いて、入り口、とろっとろにほぐして……♡

恋人えっち……♡ してあげてください……♡

私はここで、応援……♡ してあげますからねえ……♡」

書「んうああっあああ………♡

待って♡ 待って♡ だめだめ♡

子宮突き上げ♡ ホントに♡

うううう………♡ 好きだから♡

それ好きだから♡ 子宮やばいの♡

おまんこそろけちゃう♡ おまんこ♡

ううううっ、本気汁♡ 出てきちゃう♡

キミのおチンポ♡ おまんこ抱きしめて♡

ザーメンお搾りしちゃからあ♡

っあっあああ………♡

んあっ、ん、んあ、あん、ああ、あん、ああ、ん♡

んふ、んっふ、ああ、ああ、ああん、んあん………♡

ん、んあ、んっ、うん、あんっ、あ、あっ、あんっ、いやん♡

んうあ、んっ、ん、んう、んっ………♡

あっ、うっ、あっ、うあっああ………♡」

副「ふふふ……♡

さあ、仕上げですよ……♡

もう言わなくてもわかりますよね……♡

書記ちゃんのおまんこ、一番奥の、奥……♡

子宮におチンポ、ぎゅっつくっつけて……♡

はい……♡ 先ほど私にしてくれたように……♡

いえ、それ以上の中出しお射精……♡

書記ちゃんのこと、素直にしてあげるお射精で……♡

あなたのものにしてあげてください……♡

きっと、待ってますから……♡

あなたのおチンポで、書記ちゃんの子宮も、心も、

こじ開けて……♡

恋人中出しお射精で……♡

あなただけのものにしてくださあい……♡」

書「うううあっつあああ……♡

イクイクイクイクっ♡ イックっ♡

イックうっ♡

んううあつ、イックううう………♡

んっ、いつ、うつくっ、はっあああ………♡

イツちゃうっ♡ うううあっ♡

イクイクっ♡ くうううう………♡

イッグ♡ イッグ♡ もっ、わかんないっ♡

好きだからっ♡ これっ♡

おチンポもっ、全部っ♡ 好きすぎてっ♡

うっあっあああ………♡

イッグ♡ イッグ♡ イッグ、うううう………♡

ううあっ、くううあっ、んっうううっ♡

んいいいい………♡

あああっあああああ………♡「

書」(絶頂) いっぐうううううう………♡

くうううあっ、ふんうううああっああ………♡

ああっああっ、うつくっ、はっあああ………♡

ふっ、いっ、んいいっ、くううう……♡

うっ、くっ、熱いっ♡ どんどんっ♡

いっぱい出てる……♡ 気持ちいい……♡

中出し、びゅるびゅるう……♡

ああああ……♡ 気持ちいい……♡

好き……♡ 好き……♡ 好きいい……♡

ふっ、ふっ、ふううう……♡

はあ、はあ、はあ……♡

んっはあ……♡ はあ、ふう……♡

副「ふふふ……♡

はい……♡ お疲れさまでした……♡

それで、どうですか、書記ちゃん？

彼のことは……♡

書「で、ですから私は、別に……♡

ふう、ふう、ふう……♡「

副「あらあら……♡

まだ素直になつてくれないなんて……♡

ふふ……♡ でも、きっともう少しですよ♡

がんばってくださいね♡

私、応援してますから……♡

ふふふふふ……♡「

● 10 書紀&会長と好き好きえっち♡ どっちの彼氏になっちゃうの!?

(フェードイン)

会「……というような話を、

副会長から聞いたわけだが……♡

どうなんだ? ん?

キミは新人くんのが好きなのか?

このように、またもエカップおっぱい、

おいしそうにむしゃぶりついている、

彼のこと♡

んっう……♡「♡」

書「またその話ですか……♡

もういいじゃないですか、どうだって……♡

確かに私は彼と、クラスは違っても同学年で……♡

私の初めてのセックスの相手ではありませんけど……♡

だからって好きだとか、そういうんじゃない……♡

おチンポ係としては、優秀ですけど……♡

んっぁ……♡

おっぱいにむしゃぶりついて、

うれしそうにおチンポ硬くしてくれる人……♡

かわいい顔で、おチンポ、かっこよくしてくれるからって……♡

付き合いたいとか、そういうのは……♡」

会「ふふふ……♡

まあ、実際のところ、いくらキミがどう思っていようが、

彼自身がキミのことを好きだと思ってくれないと、

付き合う以前の問題だからな……♡」

書「う……そ、それは……。

い、いや、だから私は別に、

彼のことは……♡

んっう……♡ うっ、あっ、うっくう、はああ……♡

おっぱい、吸う力、また強く……♡

き、キミ……♡ 私のこういう話聞くと、

いつもちゅうちゅう、強くしてない……？

はっあん……♡」

会「ほほう、そうなのか？

ということは、意外と脈ありかもしれないなあ……♡

キミと付き合いたいという気持ちが強まると、

キミのおっぱいにむしゃぶりつきたくなるのかもしれないぞ？

んっあ……♡

まあ、それはそれとして、

こちらのおっぱいも堪能したいという、オスの欲望も……♡

たっぷりあるようだがな……♡

ふふふ……♡」

書「はあ、はあ……♡

おチンポ、またすごく熱い……♡

もう出ちゃいそうだったりする……？

おっぱい吸いながら、おチンポどっぴゅん……♡

んっぁ……♡

なら、また～人分のおっぱい、同時に吸って……♡

～人の乳首吸いながら……♡

濃いのがたくさん、出しちゃって……♡」

会「んう……♡

はは、律儀におっぱい、啜え込んで……♡

そこまですなくともいいんだぞ？

自分を思ってくれてる女のおっぱい吸いながらの方が、

おチンポ気持ちいいんじゃないか？」

書「そんなことないですよ……♡

男の子なんて、ハーレムえっちが一番好きでしょ……♡

いろんな女に囲まれて、

おっぱいとかおまんことか、いくつも並べて……♡

好き放題出来る、今みたいな状況の方が……♡

キンタマ熱くなっちゃうでしょ……♡

だから、出して……♡

いっぱい出して……♡ ザーメンびゅーびゅー……♡」

会「ふふ……♡

いいぞ、出せ、出せ……♡ んっう……♡

熱々チンポ汁♡

おっぱい吸いながら、どぶどぶ、びゅっぶう……♡

イケ、出せ……♡ イケ、イケ、出せ、出せ……♡」

書「おチンポ、出して……♡

びゅっ、びゅっ、びゅっ、びゅううう……♡

はぁ……♡

今日も熱くて濃いので、たっぷり出てる……♡

手にいっぱい、絡みついて……♡

んっうう……♡」

会「っはぁ、っふう……♡

おチンポイキながら、おっぱいちゅうちゅう……♡

最高の瞬間だな……♡

ふふふ……♡

うむ……♡ では、昨日できなかった分、

私のおまんこ、気持ちよくしてもらおうか……♡

いいな？ 書記くん♡」

書「確認なんていらないますから……♡

どうぞ、お先に……♡」

会「ふふふ……♡ それでは……♡

今日は思いきり……♡ いちゃらぶえっちでもしてみるか……♡

対面座位で、ドスケベろちゅーでもしながら……♡

なんなら、愛でも囁き合いながら、ぱこぱこしようじゃないか……♡

キミのこと、今日で私のモノにしてやるつもりで……♡

たっぷりおチンポ、愛してやるぞ……♡

ふふふ……♡」

書「う……っ。

……い、いいんじゃない？ 別に……♡

どうせ、そういうプレイなんだろうし……♡

それに、もしも本当に会長のものになっても、

私には関係ないわけだし……♡

だけど、その……♡

ちょっと、思いついちゃったからさ……♡

こういうのはどう？

私が仮に……♡ キミのことが大好きで……♡

会長に取られたくないっていう気持ち、

全開にして……♡

甘々好き好き囁きするから……♡

どっちのものになりたいか……♡

キミが決めてよ……♡

あくまで、そういうプレイだからね……♡

本気じゃあないから……♡ いい……?」

会「ふふ……♡

では、おチンポ、失礼するぞ……♡

んっう……♡

っああっああ……♡ くううう……♡

ああ、いい……♡ ふふふ……♡

私も、あくまでプレイのつもりだが……♡

このおチンポなら本当に、

私だけの男にしてやってもいい気がするな……♡

だから、プレイとはいえ本気で……♡

甘々おチンポ墮とし交尾……♡ してやるぞ……♡

そうら……♡

んうう、はぁ……♡

んっ、あっ、はっぁあん……♡

ぁぁ、気持ちいい……♡

気持ちいいぞ、キミのおチンポ……♡

一生私のモノに、してやりたいぐらい……♡

んっぁぁぁ……♡」

書「ダメ……♡

絶対ダメ……♡

キミのこと一番好きなのは、私だから……♡

いくら尊敬する会長や、副会長だからって……♡

絶対キミのこと……♡

渡さない……♡

好きだよ……♡ 大好き……♡

私と付き合って……♡ 彼氏になって……♡

好き、好き、好き、好き……♡

はっぁ……♡」

会「っあああ……♡

くううっ、おチンポ、膨らんで……♡

ふふ、好き好き囁き、ずいぶん効くみたいじゃないか……っ♡

だが、私だってキミのことは好きだぞ……♡

愛してる……♡ だあい好きだ……♡

ほら、口を開けろ……♡

愛の証だ……♡ たっぷり、ねっとり……♡

涎の交換、し合おうじゃないか……♡

ぷあ……♡

ほら……♡ 涎同士が繋がって、

アーチができてるのが……♡

とってもいやらしいだろう……♡

これだけじゃあない……♡

もっとえっちなこと、いっぱいしてやる……♡

私の彼氏になってくれたら、

もっといっぱい、いやらしいこと……♡

おチンポ嬉しくなって、ザーメンお漏らし、

止まらなくなってしまうようなこと……♡

してやるぞ……♡

っああ……♡ ほら、おまんこも、締め付けてえ……♡

やん、あんっ、いや、あん、あんっ、あう、うんっ、あ、んっ♡
んっ、うん、あんっ、あ、あっ、あんっ♡

くうっうん……♡」

書「やだ……♡ そんなの絶対やだからね……♡

キミとは私が付き合うの……♡

毎日手え繋いで学校に行くし……♡

お昼はいっしょに、手作りのお弁当食べてほしいし……♡

帰りはそのまま、下校デート……♡

ショッピングとか、映画見るとか……♡

いっしょに話題のスイーツ食べるとかして……♡

休みの日は、毎日デート……♡

一日たっぷり、二人で遊んで……♡

最後はラブホで、らぶらぶえっち……♡

いっぱいキスして、おまんこハメて……♡

らぶらぶえっちするの……♡

だから、会長のものになんかせない……♡

キミは私のモノだから……♡

絶対離さない……♡

好き、好き、好き……♡」

会「んっい……♡

おチンポ、また硬く……♡ うううう……っ♡

うっあっあああ……っ♡

くうううっ、突き上げピストン……♡

すげっ♡ くううう……っ♡

うっひっ、んっひい……♡

ううううんああああ……っ♡

あっ、くっ♡ またっ、おまんこっ♡

くうううっ♡ おっきいおチンポでっ♡

攻められてっ♡ 敏感っ♡ 感じまくりでっ♡

へえああああ……♡

ん、あん、はぁ、ああん、うん♡

あんっ、あっ、んぁ、ああんっ♡

んっううう……♡

ああ、好きだ……っ♡

これ、好き、しゅき、好きなんだぁ……♡

このセックスっ♡ このおまんこ交尾がっ♡

一番……♡

このおチンポ相手にならっ♡

本当につ♡ 本気になっても構わない……♡

キミの女に……っ♡ キミのものに……♡

あっ、うううっ、あっああっ♡

くうううん……♡

はっ、くっ、あっくうっ、はっああ……♡
「♡

書「おチンポイッちやいそう……?」

うん……♡ いいよ……♡ 出していいよ……♡

会長の中に、中出ししていいよ……♡

でも、出すだけ……♡ おチンポ係として、

会長の性欲満たすだけの射精……♡

優秀おチンポとしての、お仕事射精だよ……♡

本気中出しは、私のために取っておいてね……♡

私のおまんこ、もうすっかりぐちょ濡れだから……♡

大好きなキミのおチンポ待ちかねて……♡

子宮の奥まで濡れちゃってるから……♡

とっとと会長との義務えっち終わらせて……♡

私と本気のらぶらぶ孕ませえっち、しよ……♡

だから、出して、出して……♡

おチンポ射精して……♡」

会「ああ、あん、うん、うつふ、うん、あは、あんっ、あんっ、あんっ♡

ん、んあ、あん、ああ、あん、ああんっ♡

んっううう……♡ うっくっ♡

イック♡ イックうつ♡ っあああ……♡

はっ、くっ、いきゅっ、んっくうつ♡

出してっ♡ 出してえ……っ♡

熱々ザーメン、出してくれえ……♡

イクから、出して♡

イッて、イッて♡ おチンポ射精い……っ♡

あっ、あっ、んうああっ、はんうあああ……♡

イクイクイクイクっ♡ いっきゅ、いきゅ、いきゅうう……♡

はああっあああ……♡」

会「(絶頂) んううううああ……♡

んっうつ、うつくうううつ♡

うううあああああ……♡

あああっ、どぐどぐ♡ 中出し……♡

ううううん……♡

あっ、ううううっ、どびゅどびゅっ、熱いっ……♡

はっあ、はっああ、んっうううっ、んっいっいっ……♡

ふっう、ふっう、ふっう、ふー……♡

はあ、はあ、ふうう……♡

んっううん……♡

はあ、はあ、はあ、あはあ……♡

き、みい……♡ ああ、気持ちいい……♡

私の敏感おまんこは、相変わらず……♡

キミの本気ピストンには耐えられんな……♡

なんだか本当に惜しくなってきたよ……♡

キミという男が……♡

あっ。」

書「ふー……♡ ふー……♡

ほら……♡ だめでしょ……♡

他の女の顔なんか見てたら……♡

キミは私の彼氏なんだから……♡

私とえっちするの……♡

らぶらぶハメハメピストンしてくれないといやだから……♡

来て、お願い……♡

私のおまんこ、しゅきしゅき種付けプレスでぶっ潰して……♡

赤ちゃん作るような本気交尾で……♡

恋人子宮に種付けして……♡

赤ちゃん孕ませて、私のこと、お嫁さんにして……♡」

会「おいおい、書記くん……♡ くくく……♡

プレイのほずが、入れ込みすぎだろう……♡

はは……♡」

書「んっあ……♡

はっあ、はあ……♡

来て……♡ おチンポ入れて……♡

種付けして……♡ 孕ませて……♡

子宮に子作りおチンポミルク流し込んで……♡

ママにしてえ……♡

んっああ……♡

やつああああん……♡

っああっ、んっううっ♡ 好き、好きいい……っ♡

だあい好き……♡

んふ、んっふ、ああ、ああ、ああん、んあん……♡

んっうあっ、あっふっ、おっ、んっお、んうっ♡

んううう……ッ♡ 種付けピストン……っ♡

すっ♡いよおお……♡

んいい……っ♡ はっ、はっ、んっふう、はあああ……っ♡

はっ、はあっ、んっあっ、はあああ……っ♡「

会「そら……♡ どうだ……♡

書記くんはどうやら、キミへの好き好き囁きで、

酔ってしまったようだぞ……♡

自分が本当にキミと付き合っていると錯覚して……♡

らぶらぶお嫁さんえっちが止まらないみたいだ……♡

いいじゃないか……♡

なら、ここで既成事実作り……♡

酔っ払って見ているだけの夢を……♡

現実にしてやろう……♡

ほら……♡ 応援してやるぞ……♡

ふふふ……♡」

書「んっ、んっ、んっ、んうう……っ♡

っふう、ふう、っはぁ、はぁ……っ♡

好きっ♡ 好きっ♡ もっとしてっ♡

もっと来てっ♡ 彼氏チンポっ♡

大好きおチンポで子宮っ、うううう……♡

子宮とろっとなにしてえ……♡

どくどく止まらない我慢汁♡

えっちなカウパー、子宮に染み付けて……♡

染みこませて……♡

カウパーだけでも孕んじゃうような、濃厚ピストン……っ♡

はっあああ……♡

好きっ♡ 好きっ♡ 好き好きっ♡

んっううう……♡

おまんこっ♡ 浮いちゃうっ♡

おまんこからっ、おチンポっ♡

お迎えにいっちゃうっ♡

あっ、うううあっ♡ 好き好きっ♡

好きいいい……♡

へっあああ……♡」

会「おーおー……♡

見ているこっちが恥ずかしくなるようなことを……♡

あの書記くんがなあ……♡

ふふふ……♡ ほら、答えてやりな……♡

恋人えっちは、ただおまんこ突くだけじゃあないぞ……♡

一カップおっぱいを揉んでやったり……♡

男の方から愛を囁いて、子宮をもっと疼かせるんだ……♡

このオスの子供なら孕んでもいいって……♡

身体に刻みつけるんだ……♡

できるだろう？ キミなら……♡

彼女のためなら、子作り欲求……♡

爆発させられるだろう……♡

ほうら……♡」

書「んっひっいいいん……♡

っあああっ♡ おっぱいもっ♡

んうううっ♡ 乳首っ♡ くにくにっ♡

うっあっ♡ それ好きっ♡ それ好きっ♡

キミに触ってもらうのっ、全部好きい……♡

うっああっっ、んっうううう……♡

あっ、んっあ、んうああ……っ♡ はああ……っ♡

あっく、んううう……っ♡

っあっあああ……♡

子宮たんたん……♡ 赤ちゃん孕ませるぞおって……♡

わかるっ♡ わかっちゃうっ♡

絶対孕むっ♡ 赤ちゃんデキるっ♡

キミの赤ちゃん植え付けられて……♡

キミのお嫁さんにされちゃうよお……♡

っあああ……♡ うんっ♡ うんっ♡

好きっ♡ 好きっ♡ 私もっ♡

好き好きっ♡ だあい好きい……♡

んっううあっ、くううん……♡」

会「よし……♡

そら、出せ……♡ トドメの中出しだ……♡

愛してるって言いながら、どぼどぼ孕ませ射精するんだ……♡

お前は俺のものだ♡ 絶対離さない♡

結婚しよう♡ 大好きだぞ♡

赤ちゃん作って、家族で幸せに暮らそうって……♡

恋人らぶらぶえっち、ラストスパート……♡

お嫁さんプロポーズ種付けでフィニッシュだ……♡

書記くんと幸せな家庭、築くといい……♡

<<<<<<……♡」

書「あっあああっ、うっあああっ♡

うんっ、出してっ♡ 孕ませてっ♡

赤ちゃん作るっ♡ 大好きなキミの赤ちゃんっ♡

絶対産むう……♡

結婚するっ♡ お嫁さんになるっ♡

学生結婚でいいからっ♡

学校中に見せつけるっ♡ キミとらぶらぶだっっ♡

赤ちゃん作っちゃったってえ……♡

んううあああ……♡

大好きだもんっ♡ 大好きなんだからっ♡

全然平気っ♡

だからっ、孕ませてっ♡

おチンポ射精っ♡ 種付けっ♡ 子作りっ♡

いっぱい中につ、ちょうだいっ♡

ちょうだあいっ♡ んっううう……♡

んうううつ♡ いっく♡ らっくうつ♡

イクイクイクイク♡ ううつあ♡

はっあっあああ……♡

んっくううう……♡

ひっぐうううう……♡」

書「絶頂」んっひひひひ……♡

っっあああっ♡ んうあっあああ♡

射精♡ 出てる♡ どくどく♡

どびゅどびゅう……♡

旦那様ザーメン出てるよお……♡

孕まされてる♡ 大好きなキミに……♡

私の一番好きな人に♡

赤ちゃんっ、植え付けられてるうう……♡

ううううつ、くううう……♡

あっ、くっ、んううあっ、はっああん……♡

はっ、ふっ、はっ、はっああ……♡

ふー……♡ ふー……♡ ふうううつ、

うっああああ……♡

んっううん……っ♡

はぁ、はぁ、はぁ、っあああ……♡

好き、好き、好き、大好きい……♡

ふう、ふう、ふううう……っ♡

会「ふふふ、お疲れさま♡

いやぁ、いいものを見せてもらったぞ♡

若いというのはいいなぁ♡ うんうん♡

書「……何言ってるんですか、会長……。

これ、プレイだって言ってるじゃないですか……。」

会「何い？……まったく、いつの間にやら正気に戻っていたのか。

このままくっついていればいいものを……。」

書「ですから、私は別に……。

あ……。

でも、その……キミとのえっちが、気持ちよかったのは……♡

ウソじゃないから……♡

今日も、イカせてくれて……♡

いっぱい中出ししてくれて、ありがとね……♡

毎日、お疲れさま……♡

また今度も……よろしくね……♡

ふふふふふ……♡「♡」

● 11 居眠り中におっぱい堪能……♡ 夢見心地の幸せ囁き……♡

会「……ん？ 彼はまだいないのか？」

副「そう……みたいですネ。

先にいると連絡は聞いていたんですが……。

おトイレでしょうか。」

書「……ん？

あ。あそこに……。」

会「何？……なんだ？ 眠ってるのか。

いや、起きて……。

微妙だな……。目は薄ぼんやりと開いてるんだが……。」

副「起きがけか眠りかけか……。」

何にしても、ふふ……。」

起こすのは少し、忍びないですね。

きっと、疲れてるんだと思います。」

書「毎日私たちの相手してるから、ですよね……。」

ちょっと、無理させ過ぎちゃったかな……。」

会「かもしれんな。

なら……ふふふ、このままゆっくり眠れるように、

ω人で癒してやろうじゃないか。」

副「癒す……というと……。」

ふふ、こういうことですか？

おっぱいで、彼のことを……♡」

書「ああ、そういう……。」

ふふ♡ いいですよ、私もやります♡

おっぱい、顔にでも押し当ててやれば、

スケベな彼は大喜びでしょうし♡」

会「そういうことだ♡

そら……♡ 起きてるのか眠ってるのか、

なんなら、夢でも見ているとでも思ってるキミに……♡」

副「ω人同時ぱふぱふのプレゼントです……♡」

書「しっかりω人分のおっぱいの感触、

味わいなさいね……♡

はあい……♡」

会「ぱっふん……だ♡

ふふふ……♡」

副「ばふばふ、ばふばふ……♡

ずっしり柔らかおっぱい、押し当てて……♡

いいこ、いいこ……♡」

書「んっう……♡

吐息が当たって、くすぐったい……♡

それに何か……笑い声みたいなもの、

漏れてませんか？」

会「そりゃあそうだろうなあ……♡

夢心地の中で、こんなに気持ちのいいおっぱい、

たっぷり押し当ててもらえているんだ……♡

うれしいだろうなあ……♡」

副「おチンポの方も、ズボンの中でびくびくって……♡

勃起し始めてますね♡」

書「なら、しちゃいますか？

寝ているウチに一発ぐらい……♡」

会「まあ待て♡

それでは起こしてしまうだろう？

あくまでもこの夢の中で、

幸せな気分を感じてもらおうというんだ♡

していいのはせいぜい……♡

こうして、キスぐらいだろうな……♡

んうぁ……♡

はぁ……♡

ふふふ……♡」

副「ふふ、そうですね♡

では私も……♡

こちらのお耳、舐めてあげましょうか♡

書「なら、私はこっちを。

それと……手はこうして、谷間の中に入れてやって……♡

ぽかぽか、あっためながら……♡」

会「ω人いっしょに、心地よくしてやろう……♡」

副「気持ちいいですか……♡

いいですよ……♡

たくさんたくさん、夢心地……♡

いい気持ち……♡ なってください……♡」

書「いつもお疲れさま……♡

キミのおかげで大助かりだよ……♡

ありがとう……♡

よしよし、よしよし……♡」

会「ふふふ……♡

また幸せそうに笑っているな……♡

ああ、いいぞ……♡

もっといい気分になってくれ……♡」

副「さあ、お次は私がキスする番ですよ……♡

優しくちゅーしてあげますから……♡

かわいいお顔、見せてください……♡」

書「ふふ……♡

癒されハーレム、最高だね……♡

いつもがんばってるキミだから、

これだけいい目にあってるんだよ……♡

よかったね……♡」

会「普段から、私たちのような女と、

ひたすらセックスできるんだから……♡

すでに相当な幸せものだとは思わがな……♡

ふふふ……♡」

副「そのセックスが大変だから、

がんばれるのがえらいんですよ……♡

「回で何回も、何回も、

おチンポぴゅっぴゅ……♡

普通の人にはできませんから……♡」

書「うん……♡

何度もできて、何度もしてくれるおチンポ……♡

本当にかっこいいよ……♡

そういうところが……♡

好きなんだよ……♡」

会「ああ……♡

私たちみんな……♡

キミのことが大好きだ……♡

キミと出会えて、私たちも……♡

幸せだ……♡」

書「さあ、最後は私……♡

私もいっぱいキスして……♡

キミのこと、癒してあげるからね……♡」

会「ふふ……♡

眠りが浅くなってきたな……♡

そろそろ起きてしまいそうだ♡」

副「なら、完全に起きてしまう前に……♡

いっぱい癒してあげましょう……♡

起きた時、とってもいい気分になっているように……♡

ほうら……♡」

書「はあ……♡

好きだよ……♡

大好き……♡

起きてる時には言えないけど……♡

今のうちに、いっぱい言ってあげる……♡

だあい好き……♡」

会「あーあ……♡

起きていれば、とってもかわいらしい告白、

聞けたと言っのにな……♡

もったいない男だ……♡」

副「いつかその言葉、

ちゃんと彼の目の前で言ってあげてくださいね……♡

そうすればきっと、彼も……♡

かなり喜んでくれるはずですから……♡」

書「……うん……♡」

会「……ん？

ふふ……♡ 起きたか♡

おはよう、新人くん♡

ずいぶんとぐっすり眠っていたようだな♡」

副「お疲れですか？

なら、今日のお仕事はやめにしましょうか♡

無理をするのもよくありませんしね♡」

書「大丈夫？　へえ……♡

かつこいいこと言ってくれるじゃん♡

……え？　な、なんでおっぱい丸出しなのかって……っ。

それは……っ。」

会「……ふふ♡

キミを逆レイプするためだと言ったら、どうする？

人がキミとのえっちを楽しみにしていたのに、

勝手に寝ておってからに……♡」

副「あは……♡

ええ、そうですよ♡

これはお仕置きとして、たっぷり搾ってあげないとですね♡」

書「ちよ、ちよっと、二人とも……♡

無理しちやいけないとか言ってたのに……♡

ふふ……♡

ま、そういうわけだから……♡

今日は久々に、生徒会室でえっち……♡

しちゃおっか♡

ふふふふふ……♡」

● 12 目覚めた途端に強制えっち♡ 涎ごくごく搾られ逆レイプ♡

会「そら、入れるぞ……っ♡

なぜだかキミのおチンポも、

すっかり準備万端みたいだからなあ……っ♡

んっぁ……♡

くうううううん……っ♡

はっぁっぁぁ……♡

んううぁぁぁ……っ♡

んっひいつ、はぁぁ……っ♡

あっ、っはあっ、んううあっ、はああ……っ♡

んっうううん……っ♡

はっ、ふっ、はっあああ……♡

ああ、気持ちいい……っ♡

今日はまだ、仕事前だが……っ♡

キミとするセックスは、いつしたって……っ♡

くうううん……っ♡」

副「いきなり逆レイプ始まっちゃって、

大変ですねえ♡

よしよし……♡

はいい……♡ おっぱいですよお……♡

辛い逆レイプセックス♡

大好きなおっぱいちゅうちゅうちゅうで、

耐えきりましょうねえ……♡

っあんっ♡

ふふふ♡ かわいい吸い方……♡

よしよし、よしよおし……♡」

書「おっぱいはこっちにもあるよ……♡

ほら、こっちも吸って……♡

会長におチンポ犯されながら、

ちゅぱちゅぱちゅっちゅ♡

いっぱい吸っちゃえ……♡

おっぱい星人……♡

はっぁ……♡ あっ、んっう……♡

乳首ぱつくん……♡ 気持ちいい……♡

んっ、ふっうん……♡」

会「おいおい……っ♡

せっかく私が、キミのおチンポ、

犯してやってるんだぞ……♡

んっぁぁ……っ♡

こっちに集中してくれないと、

嫉妬してしまうぞ……♡

ほら、顔はこっち……♡

涎たっぷり飲ませてやるから……♡

べろちゅーしょう……♡

んうぁ……♡

っへぁぁ……♡

っぁぁぁ……♡ おチンポ膨らんできて……っ♡

んっひい……♡

っはぁっ、っはぁぁ……っ♡

ぁっ、ぁっ、んっぁっ、はぁぁ……っ♡

んっはへぁっぁぁぁ……♡

ぁぁっ、気持ちいいっ♡ おチンポっ♡

おチンポしゅきっ、しゅきい……っ♡

ううぁっぁぁぁ……♡」

副「ぁは……♡

会長の敏感おまんこも相変わらずで……♡

いえ、きっとそれよりも、んんう……♡

あなたのおチンポがそれだけすばらしいということ、

なのでしょうね……♡

私もあなたのおチンポ、大好きです……♡

あなたとするえっちが、何よりも……♡

かっこいいおチンポ……だあい好き……♡

おっぱいちゅうちゅう、いっぱい吸って……♡

はっあん……♡

もっと大きく、硬あくしてくださあい……♡

んっ、あっ、っふっうん……♡」

書「爆乳」に囲まれて、おチンポ犯してもらって、

たっぷりおっぱいちゅぱちゅぱできて、

ホント、幸せそうな顔しちゃってさ……♡

でも、キミのそういう顔、好きだよ……♡

もっとおチンポ気持ちよくなっちゃえ……♡

おっぱい、もっと強く吸って……♡ んっうう……♡

たくさんおチンポガチガチにして……♡

熱いの出しちゃえ……♡」

会「んっ、あっ、あっ、ああああ……っ♡

あっ、あっ、あっ、あっ、ああああ……っ♡

っくうううっ……♡

おチンポ、ふりゅえてえ……っ♡

くうううっ、はっああ……っ♡

出るんだなっ♡ 出るっ♡ 出りゅっ♡

精液出るっ♡ くううううん……♡

うっ、あああっ、チンポ汁っ♡

びゅるるう……♡

いいぞっ、くうううう……♡

私もイクからな……♡ んうあはあ……っ♡

イクからっ♡ 出してくれっ♡

奥にいっぱい、熱いの、くれえ……っ♡

キミの精液っ♡ 奥に満たして……っ♡

今日もたくさんっ♡ たっぷりザーメン……♡

ううっあっああ……♡

イク、イク、いっきゅ♡ くううう……♡

あっ、あっ、あっ、ううあっああ……♡

ううううっ、くううううっ……♡

(絶頂) はっああっああ……♡ うううあああっ♡

んっいいいっ、はっあああ……♡

熱い……っ♡ びゅぐびゅぐ……♡

っああっ、子宮にたっぷり……♡

流し込まれて……♡ はっ、くっ、はっあああ……♡

あはあ……♡

はっ、ふっ、うううん……♡

ふふ……♡ 逆レイプしていたはずだが……♡

これでは、どちらが犯されているか、

わからんな……♡

子宮が完璧に、キミの精液に堕ちきってしまっている……♡

ふう、ふう、はあ……♡

副「あらあら、だらしないんですから、会長は♡

私はそんなことはありませんよ……♡

あなたのこと、たあっぷり犯して……♡

あなたのおチンポ♡

私のおまんこの虜にしちやいますからね♡

んっう……♡

あっあああん……♡

っはあ、っふうっう……♡

ああ、っくうう……♡

行きますよお……♡ ええい……っ♡

っはあっ、っはあっ、んんんっ、はっ、ふうっ、っはあっ♡

ああああ……っ♡ んっくうあ♡ んっいい……♡

っはっあ……♡」

書「ふふ……♡

さあ、副会長のデカ尻杭打ちピストン♡

おっぱいだぶだぶ揺らしながら、

おチンポ甘々に搾ってもらえる優しいレイプ♡

耐えられるかな……♡

辛ければ、ほら……♡

おっぱいちゅぱちゅぱ、続けていいからね……♡

んっあん……♡ はっ、っふっ、んっう……♡

そうそう……♡ キミのためだけの、

「カップおっぱい……♡ もっと吸って……♡」

会「おっと……♡ 私のおっぱいも忘れるなよ……♡

さっきまでキミを犯していた女のおっぱいだ……♡

キミがたっぷり中出しキメたおんなのおっぱいだぞ……♡

んっう……♡ はぁ……♡

そうそう……♡

いっぱい吸って……♡ もっと感じさせてくれ……♡」

副「はっ、ふっ、はっ、はっ、はぁっ、んうああ……っ♡

あは……♡ 左右にお顔交互に向けて、

おっぱいちゅぱちゅぱ………♡

どっちのおっぱい吸ったらいいか、

頭ぐるぐる、たっぷりちゅっちゅ………♡

おチンポぐちゅぐちゅ犯されて♡

あっちもこっち気持ちよすぎて、幸せすぎて、

混乱しちゃってるんですね………♡

こんなのおチンポ硬くして………♡

私のおまんこ、ぐりぐり拡げて、子宮まで、

っああ………♡

強く、押し上げてきてっ♡

あっ♡ ううっ♡ あっああっ、はっあああ………♡

ほら、キス………♡

とろとろ涎流し込みべろちゅー………♡

私とも………♡

へっあああ………♡

ああ、私まで頭、ぐるぐるになってきてしまいます………♡

べろちゅーハメハメ、気持ちよすぎて………♡

くっくっくっく……♡」

書「あーあ……♡

あんなに意気込んでたのに……♡

副会長もキミのおチンポに負けちゃいそう……♡

ばちゅばちゅおチンポ逆レイプ♡

またキミの勝ち……♡ んっぁ……♡

おっぱいちゅうちゅう飲む元気、

まだあるもんねえ……♡ んっう、はぁ……♡

おっぱいパワーでおチンポ元気いっぱい……♡

悪いおまんこ、やっつけちゃう……♡」

会「いやいや、まだわからんぞ……♡

副会長はここからが強いんだ……♡

キミみたいなおまんこ甘やかさに弱いオスを♡

デカケツ叩きつけハメハメプレスで、

ザーメンお漏らし止まらなくさせちゃうぞ……♡

ほら、ほら、イキそうだろう？

出る出る出る出る♡ ザーメン漏れる♡

おまんこ負けちゃう♡ おチンポイクイクう……♡

んっはっああ……♡

おっぱいちゅぱちゅぱで濃くなった精液♡

搾られちゃうぞお……♡」

副「んっううう、あっあああ……♡

ほうら、出してくださいあい……♡

おチンポイッて♡ おチンポ出してえ……♡

子宮とんとん、おチンポの先っぱまで、

おまんこの中で撫で撫で、よしよししてあげますからあ……♡

はっああ……♡

んうあああつ、あああつ、あつ、うああっ♡

ああっ、んうあああ……っ♡ はっ、はあっ♡

でも、私もっ♡ 本当に……♡

おチンポ、負けちゃいそっ♡ んっあっ♡

イクっ♡ イックっ♡

おまんこイッちやうっ♡

んうぁあっ、はっぁあん……♡

うっ、あっ、ぁぁあっ、うううん……♡

イクっ♡ イクっ♡ おまんこっ♡

おチンポといっしょにっ♡ はっぁあ……♡

イク♡ イク、イック、イックう……♡

あっぁっぁあっぁあ……♡

(絶頂) くうううん……♡ っぁっぁあ……♡

あっ、んっうっ♡ 出てるっ♡ 出てますっ♡

あっく♡ はっぁあ……♡

どくどく、ぶびゅびゅう……♡

子宮にねばねばザーメン♡ 出されて、ぁぁあ……♡

んっ、くっ、やっぁあ……♡

ふっ、はっ、はっぁあ……♡

はっ、ふっ、はっぁあ……♡

おチンポ、すっごいです……♡「♡」

書「あーあー……♡

副会長、それは勝ちなんですか？

それとも負け？ ふふ……♡

お尻ぴくぴく痙攣させて、アクメの余韻、浸りまくりで……♡

仕方ないですねえ……♡

二人の仇は私に取りますよ♡

私のおまんこ逆レは、強烈だから……♡

ね……♡

私のおまんこで、キミのこと……♡

屈服させてあげる……♡

んっぁ……♡

くうううん……♡

はっ、ふっ、はっぁぁあ……♡

ふう、ふう……♡

いくらキミのおチンポが、私の初めてチンポだからって……♡

容赦しないよ……っ♡

んっいいい……っ♡

ふうううつ、んうあああ……っ♡

はあっ、はあっ、んっあ、あああ……っ♡

はっああああ……♡」

会」さあさあ♡ 本命登場だぞ♡

このおまんこに耐えられるかな♡

何せ書記くんのおまんこは、キミ特化……♡

今日までキミのおチンポしか知らない、

まさしくキミだけのおまんこだからな……♡

形ぴったり、愛情たっぷりのおまんこに犯されて、

我慢できるかなあ……♡

んっうう……♡ クソデカおっぱい、

浮気ちゅうちゅうで……♡

どこまで耐えられる？ ふふふ……♡」

副「ほうら……♡

こっちにも魅力的なおっぱいがありますよ……♡

甘々逆レイプおまんこになんか目を向けないで、

おっぱいに甘えて、ちゅっぱちゅっぱ♡

吸いまくっちゃいましょうねえ……♡

たっぷりちゅうちゅう吸ってれば、もしかしたら、

甘い母乳……♡ 出るかもしれませんよお……♡

んっあんっ♡ あはあ……♡

はい♡ そうですよお♡ ちゅっちゅっちゅ……♡」

書「あああつ、あああつ、っんんっ♡

っああつ、っんっ、んんっあっんんいっ♡

ちよっと……♡ おっぱいにはっか、

集中すんなって……♡

こっちのおまんこの方が、絶対いいんだからさ……♡

私のおまんこ、正真正銘、キミ専用だよ……っ♡

キミのしか知らないおまんこに、いっぱい、

犯してもらえてるんだからさ……っ♡

んうんっ、はっああ……♡

ほら、べろちゅー……♡

キスだって……♡ キミだけだよ……♡

キミ以外の男子の涎の味……♡

知らないんだから……♡

はっあああ……♡

ほら、だからおまんこにおチンポ集中……♡

ひだひだ一枚一枚、キミのおチンポ、好き好きしてるの、

感じるでしょ……っ♡

ふふふ……っ♡

会「ほうら♡ どうする♡

私たちのおっぱいか♡ 書記くんのおまんこか♡

どっちがいい？ どっちでおチンポイカされたい？

ザー汁どぴゅどぴゅ出す時、どっちにおチンポ、

意識集中させるんだ……♡

んっうん……♡ ああ、そうだよな♡

こっちだよなあ……♡

おっぱいちゅうちゅう吸いながら、

どっくんどっくん♡ したいよなあ……♡

男の浮気は蜜の味だもんなあ……♡」

副「甘々おまんこは、書記ちゃん一人……♡

だけど浮気おっぱいは、私たち二人……♡

男の子がハーレムえっち好きだって言うんなら、

選ぶのは、こっちですよねえ……♡

んっはあ……♡

ほうら、こんなに必死におっぱいちゅうちゅう♡

かわいい顔で、赤ちゃんみたいにちゅっぱちゅぱあ……♡

いいこ、いいこお……♡

さあ、お漏らししましょうねえ……♡」

書「だめだって、言ってんでしょ……っ♡

んっうん……♡

イクならこっち……♡ おまんこでイクの……♡

ほら……っ♡ ほうら……♡

わかんないの……っ♡ 私のおまんこの感触……っ♡

キミのこと、好き好きって♡

ぎゅっぎゅ、ぎゅっぎゅ♡ 恋人ハグ、しちゃってんだよ……っ♡

私は違うけどお……♡ 私のおまんこは、もう……っ♡

すっかりキミのこと、大好き彼氏って思っちゃってるんだからあ……♡

いつ、いつああっ、あっ、っんん……♡

だから、出して……♡ 彼女おまんこに、らぶらぶ種付け……♡

そうすれば、もしかしたら……♡

私自身も……♡ 彼女おまんこの持ち主もさ……っ♡

ホントにキミの彼女になっちゃうかもよ……♡

だから、ね……♡

出して……っ♡ んっくうう……♡

イクから、私も……♡

いっしょにイクから、おまんこイクから……っ♡

中出しびゅっびゅうう……っ♡

うううっ、あっああっ、イック、イック♡

はっあああ……♡

出して、出して、出して、出してえ……♡

ううううつ、はっああつ、うつくうう……♡

はっああっあああ……♡

(絶頂) んっいいいい……っ♡

うううつ、くうううつ、はっあああ……♡

ふつ、くつ、あつ、あああ……♡

ああ、出てる……♡ 彼氏ザーメン出ちゃってる……♡

うつ、くつ、好きっ♡ ああつ、好き、好き……♡

好き……♡ 大好き……♡

大好きだよ……♡ はあ、はあ……♡

はあ、はあ……♡」

会「まったく……♡

逆レイプしてるって話はどこに言ったんだか……♡

これではいつもと変わらんじゃないか……♡」

副「ふふ、そうですね♡

でも、その方が私たちらしいですよ、会長……♡」

書「うん……♡

最初からこれでやってんだから……♡

今更変わんないよね……♡

だから、もう一周……♡ しょ♡」

会「あは……♡

そうだな♡ もう一回ずつ、いや……♡

二回ずつは、出してもらいたい気分だ♡」

副「ふふふ……♡

また無理させちゃいますね♡

でも、おまんこ発情しちゃってるから、

仕方ないですね……♡」

書「あーあ……♡」

これ、結果的に本当に、逆レイプになっちゃったかも……。♡

じゃ、そういうわけだから……♡

がんばってね……♡

おチンポ係くん……♡」

会「...」

「ふふふふふふ……♡」

書「ふふふふふ……♡」

● 13 お疲れ甘々おっぱいいっぱい♡ ドスケベ生徒会はみんな優しい
……♡

会「ふふふ……♡

今日もすばらしい一日だったぞ♡

新人くん……♡」

副「さあ♡ ご褒美のおっぱいですよ……♡

たくさんちゅうちゅう♡

してくださいね……♡」

書「おっぱい吸いながら、顔を押し付けて、
たっぷりばふばふ……♡

存分に味わっちゃってね……♡」

会「んうぁぁ……♡」

副「あっはぁん……♡」

書「んっうい……♡」

会「はは……♡ また、ω人分のおっぱい♡

一気に吸い付いてくるのか……♡

たくさんヤッて、疲れてるはずなのに……♡

器用なスケベだな、まったく……♡」

副「どのおっぱいもすばらしいですもんね……♡

どれか「つだなんて、選べない……♡

よくわかりますよお……♡

ふふふ……♡

んっう……♡ おっぱいはふぱふ♡

ちゅうちゅ吸いながら、柔らかおっぱい、

むぎゅむぎゅ、むっぎゅう……♡」

書「ホント……♡

おっぱいの扱い、上手なんだから……♡

っあん……♡

揉まれるのも吸われるのも、気持ちいい……♡」

会「っふう、ふう、はぁ……♡

おっぱいばふばふも、真ん中の副会長のだけじゃあ、

満足できないだろ……♡

私や書記くんのおっぱいも、味わっていいんだぞ……♡」

副「はい……♡

個人的には、ずっとばふばふ、してあげてたいんですけど……♡

みんな、あなたのこと、大好きですからね……♡

自分のおっぱいで気持ちよく、

なってほしいんですよ……♡

ね、書記ちゃん……♡ ほら……♡」

書「わ、私は別に……♡

でも、譲ってくれるんなら………♡

はい………♡ 私のおっぱい♡

いっぱい顔、埋めちゃっていいよ………♡

んっぁんっ♡」

会「そろそろ素直になったらどうだ？

キミたちは同学年なんだしな♡

これから♡年間♡

たっぷり愛し合えるぞ♡ ふふふ………♡」

副「そうですよ♡

まあ、私はまだ来年もいますから………♡

少しだけ、お借りするかもしれませんが………♡

んぁ………♡ ほら、彼も………♡

おっぱい強く吸い付いて、離してくれそうもないですし………♡」

書「だから、違いますってば………♡

私は別に、こいつのことは、その……♡

は、初めてあげたりはしましたけど……♡

付き合うとか、そういうのは、なんていうか……♡

よ、よく、わかんないし……♡

んうう……♡

顔、いっぱいぐりぐりって……♡

何よ、もう……♡

でも、んうっぁ♡ 気持ちいい……♡」

会「ふふふ……♡ ま、若い二人の顛末は、

これから次第ということか……♡

ふふふ……♡」

副「はい♡ こっそり応援していきましょうね、会長……♡」

書「目の前でそんな話しておいて、

何がこっそりなんですか……っ♡

ああ、もう……♡ あっ♡」

会「さて、交代だ……♡

今度は私のおっぱいに、たっぷり顔、

埋めていいからな……♡

んっぁ……♡ はぁ……♡

ふふふ……♡

しかし……♡ こうしていると、本当に強く思うよ……♡

キミと出会えて、幸せだったとな……♡」

副「ええ……♡

あなた以外の男子だったら、きっと、

今みたいなことにはならなかったでしょうから……♡

あなただからこそ、今……♡

私たちは幸せです……♡

楽しく毎日、過ごせていますよ……♡」

書「うん……♡ 私も……♡

キミと会えて、本当によかった……♡

だからもっと、キミといっしょにいたい……♡

キミのそばで……♡ ずっと……♡

幸せになりたいな……♡」

会「んっうぁ……♡

はは……♡ おっぱいを吸う力、強くなったぞ……♡

ずいぶんとドキドキしているじゃないか……♡」

副「やっぱりまんざらでもなさそうですよ……♡

しっかり想いを伝えるなら今ですよ♡

書記ちゃん♡」

書「だからぁ……っ♡

ぁぁ、もう……♡

とにかく……♡ 私たちはまだまだ、

いっしょにいるんだからね……♡

会長も、副会長も……♡

♪人でいっしょって意味だから……♡」

会「ふふ、それはそうだな……♡

生徒会の仕事は激務だからな……♡

私が引退するまで、

キミにもがんばってもらうぞ……♡」

副「ええ……♡

まだまだこなさなきゃいけないお仕事が、

たくさんありますからね……♡

みんなでがんばっていきましょうね♡」

書「うん……♡

まだまだキミにいっぱい頼っちゃうから……♡

キミのかわいいおチンポに、

いっぱい甘えさせてもらうから……♡ だから……♡」

会「明日からもよろしくな♡ 新人くん……♡」

副「明日からもよろしくね♡ 新人くん……♡」

書「明日からもよろしく♡ 新人くん……♡」

● 14 オナサポトラック

1 生徒会長のオナサポ♡

会「ふふ……♡

今日は特別に、キミのことを労うことにしよう♡

いつも私たちの相手をしているから、お疲れだろう？

自分のペースで、おチンポをしごいて、

気持ちよくおチンポぴゅっぴゅ♡

精液を漏らすといい♡

私が手伝ってやるから……♡♡

さあ、こうやって……♡

キミの身体に、私の自慢の身体を押し当てて……♡

どうだ……♡

おっぱい、押し当てられるだけで気持ちいいだろう……♡

エカップの、爆乳おっぱいだから……♡

見るも触るも自由だぞ♡

さあ、おチンポをしごけ♡

私のいやらしい身体をオカズにして、

おチンポしこしこだ……♡

しこしこ、しこしこ……♡ おチンポしゅっしゅ……♡

自分のペースでいいからな……♡

焦る必要はない……♡

私はここで、キミのオナニーのお手伝いをするだけだ♡

ほら、ここだ……♡

この丸々大きく育ったキンタマ……♡

この中身……♡ たっぷり吐き出すんだぞ……♡

たっぷんたっぷんに溜まった精液……♡

キンタマぷっくり膨らますほどの、

新鮮ザー汁……♡

いっぱい出していいからなあ……♡

そら……♡

キミが喜びそうなこと、なんでもしてやろう……♡

耳舐めだろうと、キスだろうと……♡

スカートをたくし上げて、ほうら……♡

まぶしい太ももといっしょに、下着を見ながら、

おチンポしこしこ、してもいいぞ……♡

ブラも見たいか？

いいぞ、そら……♡ 制服を大きくはだけさせて……♡

ふふふ……♡

おチンポぶっとく、硬くなってきたな……♡

私好みのいいおチンポだ……♡

キミを選んで本当に、正解だった……♡

優秀チンポ、しこしこしこ………♡

いつもおチンポ係、ありがとうな………♡

いくら感謝してもしきれんぞ………♡

キミのおかげで、今は毎日、

とっても楽しいからな………♡

ほら………♡

ここを見ろ………♡ 私の股間………♡

下着に愛液染みが出来ている………♡

こうしてキミのおチンポを、側で見ているだけで、

こうなってしまうんだ………♡

キミのおチンポがとっても好みで………♡

もちろんキミ自身も、大好きだからな………♡

ああ、いいぞ♡

もっとしごいてくれ♡

私のいやらしい姿を見て、いっぱいシコってくれ………♡

おチンポ気持ちいい♡ 気持ちいいな♡

しこしこしゅっしゅ♡ おチンポオナニー♡

爆乳ドスケベ生徒会長を生オカズにして、

チンしこ気持ちいい……♡

はぁ……♡

出るか？ そろそろおチンポ、どっぴゅんするか？

いいぞ♡ いっぱい出せ……♡

いつも私たちにプレゼントしてくれる、

たっぷりのキンタマ汁……♡

今日もたくさん、射精しろ……♡

出せ、出せ♡ さあ、出してみろ……♡

おチンポからだっぷり出るところ、

私に見せてくれ……♡

イケ♡ イケ♡ イケ♡ 出せ♡

ほうら、出せ、出せ、出せ出せ、イケ……♡

おチンポ、どっぴゅん……♡

びゅー……♡ びゅううう……♡

どくどく、びゅるるう……♡

ふふふ♡ 出てるぞ♡ とっても気持ちよさそうに……♡

オナニー気持ちよかったな……♡

私が認めた優秀おチンポ♡ 最高だ♡

これからよろしく頼むぞ……♡

私のおチンポ係くん……♡

ふふふふふ……♡「♡」

● 2 副会長のオナサポ♡

副「はぁ〜い……♡

ぎゅううううう……♡

ふふふ……♡

よしよし、よしよし……♡

今日は私が、あなたのこと……♡

いっぱい甘やかしてあげるからね……♡

私のえっちな身体、どこでも触らせてあげるから……♡

自分でいっぱいおチンポしごいて♡

タマタマすっきりさせちゃおうね……♡

ほぅら♡ しこしこ、はじめえ……♡

よしよし、よしよし♡

オナニー上手♡ しこしこ上手……♡

おチンポ気持ちいいですねえ……♡

ほうら♡ おっぱいむにゅむにゅ♡

お顔に押し当ててあげる……♡

エカップデカ乳の感触♡

ふっかふかのおっぱい枕、味わって……♡

おチンポたくさん、ガチガチに硬くしてね……♡

いいこ、いいこ♡

おチンポしこしこ、いっぱいしゅっしゅう……♡

片手でおチンポしこしこしながらあ……♡

もう一方のお手々は、ほうら……♡

私のおっぱい、むにゅん、むにゅん……♡

手のひらで驚掴みにするだけで、

指がほとんど埋まっちゃうようなデカパイ……♡

お手々で揉み揉み♡

ぐにゅぐにゅ♡ 揉おみ揉おみ……♡

おっぱいの感触、たくさん味わいましょうねえ……♡

おチンポどんどん硬くしてえ……♡

濃厚精液、どっぴゅんどぶどぶ♡

出来るように……♡

たくさんオカズにしてください……♡

もおみ♡　もおみ♡

揉み揉みぎゅっぎゅ……♡

んふふふ……♡

おっぱい以外もいいですよ……♡

ほうら……♡

太ももの隙間にゆ〜って入れてえ……♡

ふかふかもちもちの太ももの感触♡

お手々たっぷり覚えましょうねえ♡

ここにおチンポ挟んだら、絶対気持ちいいだろうなあ、って……♡

おチンポドキドキさせながら♡

いっぱいごしごし♡　おチンポオナニー♡

他にもこっち……♡

私のお尻♡　むぎゅむぎゅうって♡

ぺちんぺちんって軽く叩くと、

波打っちゃうぐらい柔らかい、肉厚デカ尻……♡

指がめり込むぐらいに揉み潰したら、

おチンポ感じちゃいますよねえ……♡

ふふふふ……♡

さあ、お次はどこを触りますか？

おっぱい？ お尻？ 太もも？

それともやっぱり……♡

おまんこが一番かな……？

ほら、見てもいいですよお……♡

私のおまんこ、濡れ濡れでえ……♡

いつでもあなたのおチンポ、待ってますから……♡

ホントはここに、そのかっこいいおチンポ、入れて欲しくて……♡

ドキドキ、止まらなくて……♡

愛液たらあって、溢れちゃってえ……♡

はっああん……♡

んっううん……♡

やあん、だめえ……♡

あなたに触ってもらおうと思ったのに♡

おチンポ見てたら、オナニー、

我慢できなくなっちゃった……♡

んっあっ、あんっ♡ あんっ♡ やんっ♡

はっあん……♡

指でいじいじ気持ちいい♡

キミのお手々の感触オカズにして……♡

私もオナニー♡ 始めちゃったあ……♡

あんっ♡ やあんっ♡

んううんあっ♡ はっああん……♡

あっ♡ あっ♡ あっ♡ はっあああ……♡

んっう……♡

おチンポイッちやいそう？

おチンポイク？ おチンポ出ちゃう？

はい、どうぞお……♡

いいですよお……♡

私のオナニー見ながら、あなたもイッて……♡

どろぐちよおまんこに、ぶっかけちゃっていいからね……♡

いっぱいぴゅっぴゅ♡

おチンポどっぴゅん♡

おまんこ目掛けて、ザーメンぶっかけてえ……♡

んっうんああんっ♡ あっああんっ♡

あっ、あっ、やっあんっ、はっあああ……♡

私もイクから♡ おまんこイクからあ……♡

出して♡ 出して♡ 出してください……♡

熱々精子、いっぱいぴゅっぴゅ……♡

どうぞ♡ どうぞ♡ どうぞ♡ どうぞお……♡

はい、はい、はい、はい……♡

(軽く絶頂) んっうううん……♡

っああっ、はっあああっ、んっあああん……♡

はあ、はあ、はっあああ……♡

いっぱい出たね……♡

たっぷり出せたね……♡

えらい、えらい……♡

たくさんぴゅっぴゅできるおチンポ、

だあい好きですよ……♡ ふふふ……♡

またいっぱい、二人で気持ちよくなっちゃおうね……♡

私ならいつでも、あなたのお手伝い♡

してあげるからね……♡

ふふふふ……♡「♡」

● 3 書紀のオナサポ♡

書「んうあ……♡

っはあ……♡

オナニーするから、いっぱいキスしてほしいって……♡

急に何言い出すかと思えばさあ……♡

キミだからしてあげるけど……♡

普通はドン引きされるんだからね……♡

まったく……♡

ほら、しこしこ始めて……♡

言われたとおり、いっぱいちゅーしてあげるから……♡

オナニー、見せてよ……♡

うん、そう、そう……♡

しこしこ、しこしこ……♡

おチンポしゅっしゅ……♡

ふふ、気持ちよさそうじゃん……♡

私のキスで、いっぱい興奮していいよ……♡

唇の感触……♡ あったかいべろ……♡

とろとろよだれ……♡

全部味わって……♡

おチンポおっきくして……♡

はー……♡ はー……♡ ふううう……♡

ねえ……♡

オナニーのオカズ、キスだけで足りる？

もっとえっちな気分になりたいよね？

その方がおチンポ、ガチガチになるよね♡

オナニー気持ちいいよね……♡

だから、ほら……♡

ーカップおっぱい、見せつけてあげる……♡

手で触るのは禁止……♡

手は、おチンポオナニーに集中だよ……♡

キスしてあげるから……♡

我慢して……♡

はぁ……♡

こうしていっぱい、べろちゅーすればさ……♡

おっぱいもむぎゅうって、当たっちゃうでしょ……♡

それだけで充分……♡

ほら、おチンポしこしこ、もっとしごいて……♡

はぁ、はぁ、んうん……♡

かっこいいおチンポ……♡

ガチガチ、硬く♡ おっきく、ぶっとく……♡

んっう、はぁ、はっぁぁ……♡

ふー……♡ ふー……♡ はーぁ……♡

んっあ♡ はっああ、んっうんあ♡

んっううう……♡

なに……？

私もオナニー……？

別にいいでしょ……♡

私もしたくなっちゃったんだから……♡

キミのかっこいいおチンポ見てたら……♡

我慢できなくなっちゃったんだから……♡

はっあ、はっあ、んっうんあ……♡

おまんこ、自分で気持ちよくしないと……♡

キミに襲いかかっちゃいそうに、

なっちゃったんだから……♡

んっううううっああっ、っああっ♡

ああっ、っんんっ、んんっ♡

んっうううん……♡

ふっ、ふっ、ふっううんっ、はっああ……♡

んっう………？

イク？ 出る？

おチンポイッちやいそう………？

ん、いいよ………♡

出していいよ………♡

このまま見ててあげるから………♡

おまんこいじりながら、

キミのオナニー、見てるから………♡

出して………♡

おチンポぴゅっぴゅ………♡

ザーメンびゅーびゅー………♡

たくさん出して………♡

イッて♡ イッて♡

おチンポしーしー………♡

熱々真っ白おチンポザー汁♡

どっぴゅん出してえ………♡

はっ、くっ、あっああっ、はっああ………♡

どうぞ、どうぞ、どうぞ、どうぞお……♡

んんっううん……♡

びゅっ♡ びゅっ♡ びゅっ♡ びゅうううう……♡

はっあああ……っ♡

くうううん……♡

はあ、ふう、はあ、はあ……♡

いっぱい出た……？

うん……♡ そうみたいだね……♡

たっぷり射精……♡ ホントにかっこいいよ……♡

また……♡ オナニー見せ合いつこ、しょっか……♡

次もまた、いっぱいキスしながらね……♡

うん……♡

好きな人と、キスしながらオナニー……♡

すっごく気持ちいいからさ……♡

ふふふふふ……♡」

(※おしまいです♡)